

第五百七十四條 賣買ノ目的物ノ引渡ニ付キ期限アルトキハ代金ノ支拂ニ付テモ同一ノ期限ヲ附シタルモノト推定ス

(参照)取七四、商五四一、二項、佛一六五一、蘭一五五〇、伊一五〇八、葡一五八三、二項、瑞債務法二三〇、二六五、グラウブユンデン四〇三、一項、西一五〇〇、二項、白草一六九七、英千八百九十三年動産賣買二八

梅禮次郎君 本條ハ取得編ノ七十四條ト餘リ同シ惡意テアリマス各國ノ法律モ皆同シニ爲ツテ居リマスカラ別ニ説明スル必要モナカラウト思ヒマス唯タ取得編ノ七十四條ニハ初ノニ「合意シタル時期ニ於テ代金ヲ辨濟スルコトヲ要ス」ト言ツテアリマシテ外國テハ佛蘭西、和蘭、奧太利、西班牙、白耳義民法草案、瑞西債務法皆然ウ云フ風ニ書キ出シテアリマスカ如何ニモ之ハ言フチ俟タヌ事テアツテ固ヨリ約束ヲ履行シナケレハナラヌト云フコトハ賣買

ニ付テ計リ言フ場合テアリマセヌ限ル必要ハナイト認メテ之ハ揭ケステ唯タ重モノヲ此處ニ掲ケタノテアリマス夫レカラ既成法典ニハ斯ウ云フ事カアリマス取得編ノ七十四條矢張り今申上ケタ所テアリマスガ「又其時期ニ付キ特別ノ合意ナキトキハ引渡ノ時ニ於テ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス」斯ウ書テアリマス此「引渡ノ時ニ於テ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス」ト云フノハ或ハ、或ハテ、無クモ殆ント慥カテアリマスカ本條ノ意味ノ外ニモウ一ツ意味カアルト思ヒマス夫レハ若シ向フガ引渡サヌケレハ引渡スマテハ代價ノ辨濟ヲ俟ツテ居ルコトカ出來ルト云フ意味モ此中ニ含ンテ居ルヤウテアリマス、ケレトモ之ハ既ニ五百三十一條ニ明文ノアルコトテアツテ此處ニ復タ言ハヌテモ前ノ五百三十一條丈ケテ充分テアルト思ヒマシタカラ夫レハ掲ケマセヌ又七十四條ノ第三項第四項ノ規定カアリマスガ之ハ何レモ恩惠期限ノコトテアルガ本案

ニハ恩惠期限ト云フモノハナイカラ從テ是等ノ規定ハ不必要ト認
ノテ削除致シマシタ

長谷川喬君 「此目的物」ニハ權利ハ導入ラヌノテスカ

梅謙次郎君 物計リテスカラ「引渡」トアリマス

横田國臣君 此權利ノ證書杯ノ引渡ハ此處ニ嵌マリマセヌカ

梅謙次郎君 之ハ權利ノ證書ノ引渡ト云フモノハ目的物ノ引渡トハ
見ナイノテアリマス夫レテアリマスカラ然ウ云フ場合ニ付テハ詰
リ五百七十四條ハ當嵌ラヌノテアツテ之ハ「推定」テアリマスカ
ラ當事者ノ意思ヲ酌ンテヤルノテアリマス當事者ノ意思カ不明瞭
ナ場合ニハ矢張り五百三十一條カ當嵌マルカモ知レマセヌ併權
利ノ移轉ノ場合ニ其證書ヲ向フヘヤラナケレハナラヌト云フヤウ
ナコトハ前ノ總則ノトキニ大分議論カアリマシタガ總テ證書ノコ
トハ書カヌコトニ致シマシタ從ツテ此處ニ突然ト書ク譯ニハ往カ

ヌト思ヒマス

土方 寧君 此條ノ實質ニ付テハ少シモ不同意ハアリマセヌガ推定
ト云フコトカ此處ニ書テナクテモ法律ヲ強テシナイテモ事實同シ
コトニ爲リハシナイカト思ヒマスカ

梅謙次郎君 然ウテナイ若シ此明文カナイトキニハ意思ノ明瞭ナラ
サルトキハ目的物ノ引渡ニ付テハ有期テアルガ狀ツテ居レハ代價
ノ方ハ直クニ拂ハナケレハナラヌト云フコトニ爲ル

長谷川喬君 今ノヤウナ恐レカ物ニ付テアリトスレハ矢張り公債證
書ノ賣買トカ株券ノ賣買トカ云フモノニモ恐レハアリマスマイカ
夫レテ之ハ「物」ト云フ字丈ケ削ツテ仕舞ツテ夫レモ皆導入ルヤ
ウニシテハ何ウテゴザイマセウ

梅謙次郎君 「物」丈ケ削ツテモ「引渡」ト云フ字カアルト矢張り
往カヌ公債證書杯ニ爲ルト私杯ノ考ヘテハ無記名ナレハ有体動産

ト同一視スルト云フコトニ爲ル記名證書ナラハ證書ノ引渡ハ何時アラウトモ夫レハ多クノ場合ニハ名前ノ書キ替ヘト云フモノガ權利ノ移轉ニ爲ルノテアリマスカラ其代價ヲ受授スルト云フ當事者ノ意思テアラウト思ヒマス夫レテアリマスカラ單ニ證書ノ引渡杯ト云フコトハ當事者ノ意思ニモ必スアルトハ言ヘマイト思ヒマス
議長(笑作麟祥君) 如何テスカ他ニ御發論カナケレハ可決トシテ次ニ移リマス

(書記朗讀)

第五百七十五條 賣買ノ目的物ノ引渡ト同時ニ代金ヲ支拂フヘキトキハ其引渡ノ場所ニ於テ代金ヲ支拂フコトヲ要ス

(參照)取七五、佛一六五一、蘭一五五〇、伊一五〇八、葡一五八三、二項、モンテネグロ二二七、二項、西一五〇〇、二項、白草一六九七、英千八百九十三年動產賣買法二八

梅田次郎君 本案ハ取得編ノ七十五條ト同ジ趣意テ之モ矢張り各國

モ皆斯ウ爲ツテ居ルノテ此規定ノ本來ノ精神ニ於テ皆サンニ御異議カアラウトハ存シマセヌガ唯タ取得編ノ七十五條ニハ第一ニ不動產、債權杯ニ付テハ其證書ノ交付ヲ爲ス場所、今恰度御質問ノ出タヤウナコトニ牽連ヲシテ居リマスガ「有體動產ニ付テハ引渡ヲ爲ス場所、不動產、債權、爭ニ係ル權利又ハ會社ニ於ケル權利ニ付テハ證書ノ交付ヲ爲ス場所ニ於テ之ヲ爲ス」斯ウ書テアリマス、所カ能ク考ヘテ見マスルノニ先ツ第一ニ此證書ハ何時モアルノテハナイ不動產ニ付テモ債權ニ付テモ又爭ニ係ル權利ニ付テハ尙更ノコト必スシモアルトハ限リマセヌ縱令ヒ證書ノアル場合テモ何ウモ原則トシテハ動產ト不動產トヲ區別スルト云フコトハ餘程分リ悪クイコトテアラウ成程實際ハ此不動產ハ唯タ引渡ヲシタト云フコト丈クテハ往ケマセヌ夫レテハ權利ハ移リマセヌ夫レテ

アリマスカラ其登記所ニ於テ登記ヲシナケレハ往カヌ、テアリマ
 スカラ實際ハ兼テ承ツテ居ル通り慣習上登記所ニ於テ代金ヲ支拂
 フヤウニ爲ツテ居リマス慣習上又ハ特約ニ依テ、然ウ云フコトヲ
 承ツテ居リマスガ左モアルヘキコトテアリマス、テ此場合ニ於テ
 ハ無論登記ヲ爲ス場所登記所ヲ以テ代金ヲ渡スト云フノガ當事者
 ノ意思テアルカラ夫レハ夫レテ至極結構テアルト考ヘマス即チ後
 ノ五百八十條ニ依テ「別段ノ定」ト見テ宜カラウト思ヒマス夫レ
 カラ又債權其他ノ權利テアルト成程之ハ無形ノモノテアリマスカ
 ラ證書ノアル場合ニハ少ナクモ其證書ノ引渡ヲ以テ物ノ引渡ト同
 一視スルト云フコトハ理由ノアル話シテ現ニ準質杯ニ付テ然ウ云
 フ主義ヲ採ツタノテアリマス、ケレトモ能ク考ヘテ見ルノニ何ウ
 モ之ヲ別段ニ此處ニ規定スル程ノ必要ハナカラウ何セナラハ元來
 此引渡ト代金トチ一緒ニシナケレハナラヌト云フヤウナ場合、詳

シタ旨ヘハデス、履行、双方ノ履行力同時ニ爲ササルヘキ場合ト
 云フヤウナ場合ニハ第五百三十一條ノ規定カアツテ一方カ其履行
 チ提供スルマテハ他ノ一方デモ履行ヲ拒ムコトカ出來ルト爲ツテ
 居リマスカラ、ドチラテモ實際履行ヲ急ク方カラ先キニ其提供ヲ
 シテ來ルニ違ヒアリマセヌ然ウスレハ證書ヲ持ツテ來テ書キ替ヘ
 杯モ替スル夫レテ契約ノ趣意ニ於テ證書ヲ引渡スト云フコトガ必
 要テアル場合ニハ證書ヲ持ツテ來テカラ此通り替ヘハ公債證書ノ
 如キハ書替ヘチスル又會社ノ權利ヲモ會社ノ帳簿ヲ書替ヘチスル
 或ハ通知又ハ債務者ノ承諾ト云フモノカアルトカシタ上ニ愈々證
 書ヲ持ツテ來テ是ヲ以テ代價ヲ拂ツテ呉レト言フ其處テ以テ防ク
 コトハ出來ヌ是非代價ヲ拂ハナケレハナラヌ若シ買受ケヤウト云
 フ方カ急イテ居レハ代價ヲ持ツテ來テ此通り代價ヲ持ツテ來タカ
 ラ書替ヘチシテ呉レ通知ヲシテ呉レ此證書ヲ渡シテ呉レ斯ウ云ヒ

マスカラ實際本條ノ如キ規定ヲ置キマセヌテモ少しモ困ルコトハ
アリマセヌ唯タ有体物ニ爲ルト其物ノ引渡ト云フコトハ必スアラ
ウシ然ウシテ其引渡ト云フモノト其代金ト云フモノハ必ス同シ場
所テスルト云フコトハ明文カナイト極マリマセヌ如何トナレハ有
体物ニ付テハ大變嵩サ高ノ物杯カアリマス然ウ云フモノハ必ズ何
處ニ持ツテ往ク買主ノ方ヘ持ツテ往クト云フ譯ニハ往カナイモノ
テアリマスカラ夫レハちヤント引渡ノ場所カ契約テ以テ極ツテ居
リマス其場所テ渡ス其處ヘ代金ヲ持ツテ來イト云フヤウナコトニ
スル方カ簡便デ宜カラウト思ツテ此規定カ設ケテアリマス債權ノ
引渡ノ如キハ此規定カナクテモ少しモ困リマセヌ夫レカラ又債權
杯ノヤウナ無形ノモノテアルト云フト引渡ト云フコトカ證書ノ引
渡シ丈ケテ夫レテ動産ノ引渡杯ト同シ效能カアルカト云フト然ウ
云フ譯ニ往キマセヌ又之ハ到底同一ノ規定ニ從ハシムル譯ニハ往

キマスマイ即チ最多クノ場合ハ證書ノ書替トカ帳簿ノ書替トカ
又ハ通知、債務者ノ承諾即チ權利ノ第三者ニ對シテモ移ルヤウナ
合意ノアツタトキニハ代金ヲ拂フト云フヤウナ事カ實際最多イ
テアラウト思ヒマス然ウ云フ特約カアレハ其特約ニ從フ特約カナ
クテモ債權カアレハ債權ニ從フト云フヤウナコトニスル兎ニ角本
條ノ規定モツくり當嵌マルト云フヤウナ場合ハ實際上少ナカラウ
ト思ヒマス且又既成法典ニハ財産編ノ第三百三十三條ニハ引渡ニ
關スル細カイ規定カアツテ夫レト本條トハ重複チシマスカラ勞々
以テ此處ニハ無い方カ宜シイ若シ引渡ノ規定カ必要テアレハ引渡
ノ一般ノ規則ノ處ニテモ置カル方カ必要テアラウト思ヒマスガ
アソコテモ必要テナイト云フコトハ吾吾ノ中カラモ説明シテ掲ケ
ナイコトニ爲ツタノテアリマス夫レカラ尙ホ七十五條ノ第二項ニ
引渡ノ前又ハ後ニ代金ノ辨濟ヲ要求スルコトヲ得ヘキトキハ其辨

濟ハ買主ノ位所ニ於テ之ヲ爲ス」斯ウ云フコトニ爲ツテ居リマス
ガ既成法典ノ主義ヲハ之ハ當然ノコトテ明文ハナクテモ矢張り此
通りニ爲ルヤウニ爲ツテ居リマス財産編ノ第四百六十八條ニアリ
マス今ハ既成法典ト主義カ變ツテ參リマシタ即チ債權者ノ住所テ
シナケレハナラヌト云フコトニ爲ツテ居リマス辨濟ノ所ノ四百十
條ニ依ルト、然ウスルト之トハ反對ノコトニ爲リマス賣買ニ付テ
特ニ變例ヲ設ケル程ノ必要ヲ見出シマセヌテアリマシタカラ夫レ
テ此處ニハ何ントモ書カナイテ置テ四百十條ノ總則ニ依ルト云フ
コトニ致シマシタ

議長(笑作麟祥君) 本條モ別ニ御發議カナイヤウテアリマスカラ
次ニ移リマス次ハ萬壽捐ノ四百十二條ニ移ルカ適當ト思ヒマス之
ハ新規ニ導入ルノテスカ

穂積陳重君 然ウテス事柄ハ恰度此處ラニ之ヲ入レル必要ヲ感シマ

シタ

(書記朗讀)

修正案

起草委員提出

第四百十二條 債權者カ債務ノ履行ヲ受領スルコトヲ拒ミ又ハ之
ヲ受領スルコト能ハサルトキハ其債權者ハ履行ノ提供アリタル
時ヨリ遲滞ノ責ニ任ス

穂積陳重君 此修正案ヲ此處テ提出致シマシタ所以ハ賣買ノ目的物
ノ引渡ニ關シマシテ吾々ノ中テ初ノ起草ヲ致シマシタトキニ其目
的物ヲ引取リマスル義務カ矢張り買主ノ方ニ存シテ居ルト云フコ
トヲ何ウモ規定ヲシナイト不都合テアル斯ウ認ノマシテ實ハ初ノ
ハ導入ツテ居ツタノテアリマス其理由ハ既ニ賣主ニ於テハ引渡ノ
義務ヲ有シテ居リマス其義務ハ一定ノ時、一定ノ場所ニ於テ爲ス
ヘキモノテアリマス夫レニ付テハ準備モ要スルコトテアリマスル

シ又物ニ依テハ其引渡シマスル物ヲ置キマスル處ヲ引渡ノ時ニ於
テ自分カ夫レヲ用キルト云フコトノ希望モ法律上ノ自分ノ義務カ
ラシテ正當ニ出ルモノテアリマス若シ其時ニ買主ノ方ニ於キマシ
テ之ヲ受ケルコトヲ拒ムトカ又ハ受ケルコトカ出来ヌトカ云フヤ
ウナ場合ニ於テハ非常ニ賣主ノ方即チ債務者ノ方ニ於テ損失ヲ蒙
リ或ハ迷惑ヲ蒙リ或ハ無駄ノ手数ヲ爲ストカ云フ風ノコトカアリ
マスカラシテ一方ニ於テ法律カ引渡ヲ或ル時或ル場所ニ於テ命シ
マシタ以上ハ他ノ方ニ於テハ之ヲ引取ルト云フ義務カナケレハナ
ラヌト云フコトカラシテ此賣買丈ケニ其事ヲ規定致シマシテ且賣
買ノ所ノ總則ニ於テ之ヲ有償契約一般ニ適用致スト云フコトニ致
サウト初ノ吾々ノ方ヲ考ヘテ厝リマシタ夫レテ如斯キ考ヘカアリ
マシタカラシテ債務ノ履行ノ所ニ於テハ此所關受領ノ遲滯トカ或
ハ債權者ノ遲滯トカ云フ風ノ規定ハ殊更ニ省テ置キマシタ且債權

者カ遲滯ニアリマスルトキハ四百五十七條ノ規定ニ依テ之ヲ供託
スルコトモ出来マスカラ多分之ヲ債權編ノ總則ニ置カヌテモ不都
合ハアルマイト考ヘマシタ然ニ其後尙ホ能ク吾々カ初ノ立案致シ
マシタ條ニ付テ相談致シテ見マスルト云フト之ハ何ウモ賣買丈ケ
ニ關ツタ規則テモアリマセヌシ又賣買ノ規則ヲ總テノ有償契約ニ
適用致ストシテモマダ何ウモ債權者ノ遲滯ト云フモノノ規定カ悉
ク夫レニ當ルト云フコトニハ何ウモ爲リマスマイ或ハ有償契約テ
ナクテモ贈へハ贈與ノ如キモノテアツテモ贈與ハ固ヨリ其受領者
ノ承諾カナケレハ成立タナイ一旦承諾ヲ致シテ夫レカラシテ其引
渡ノ準備等モ致シ手数モ致スモノテアツテ此準備チシ手数チシテ
モ向フテ之ヲ受取ラヌト云フヤウナ場合其場合ニ於テハ必ス贈與
者ト云フ者カ迷惑ヲ蒙ラネハナラヌコトニ爲リマスカラシテ新ラ
シイ諸國ノ法典等ニアリマスル如ク之ハ矢張り一般ノ債務ノ履行

ノ通則ノ中ニ掲ケテ置テ債權者ノ遲滯ノ規則ト致シテ置ク方カ適
當テアラウスウ考ヘマシタカラシテ此處テ一箇條ヲ加ヘテお貰ヒ
申サウト云フコトヲ決シマシタ、デ此債權者ノ遲滯ニ付キマシテ
ハ近頃此事ヲ掲ケテ居リマスル諸國ノ法典ニ於キマシテモ又學者
ノ說ニ於キマシテモ種種ニ別レテ居リマシテ未タ一定致シタ例ハ
ナイノテゴザイマス乍併學說モ立法例モ要スルニ三ツ程ニ歸シテ
居ルノデコサイマシテ其一ツハ債權者ニ於テ過失カアル場合丈ケ
遲滯ノ責ニ任セサル^セ譬ヘハ殊更ニ忘レテ居ルトカ其受取ルコトヲ
忘レテ居ツテ受取リニ出頭セヌトカ受取ル場所カナイトカ或ハ邪
魔チスル積リテ之ヲ受取ルコトヲ拒ムトカ、兎ニ角債權者ニ於テ
過失カナケレハ遲滯ノ責ニ任セサルコトカ出來ナイト云フ說又立
法例夫レカラシテ第二ニハ過失ト云フニハ及ハナイケレトモ債權
者ニ意思カ兎ニ角ナケレハナラヌ債權者カ受領スルコト能ハサル

トキ譬ヘハ病氣ノ時ニ正當ニ提供セラレタ所ノ債務ノ履行ト云フ
モノヲ受ケルコトカ出來ナカツタ然ウ云フ風ノ場合ニマテ遲滯ノ
責任ヲ負ハセルト云フコトハ酷トイコトテアル夫レ故ニ「受領セ
サルトキハ」ト云フカ如ク夫レチ意思カアツテ受領シナイ斯ウ云
フトキ丈ケニ限ツテ居ル立法例モアリマス第三ハ即チ本案ノ採リ
マシタ所ノ規定テアリマシテ兎ニ角受領シナイト云フ事實カアレ
ハ宜シイ過失ナリ又ハ意思チ以テ殊更ニ受領スルコトヲ拒ンタ場
合ハ勿論又種々ノ事情ヨリシテ病氣ノヤウナコトテモ其他天災等
ノ如キモノテゴザイマシテモ宜シウゴザイマス債權者カ之ヲ受領
スルコトノ出來ナイト云フ事實サヘアリマスレハ兎ニ角此遲滯ノ
責ニ任セナケレハナラヌ此第三ノ主義ヲ採リマシタノデゴザイマ
ス夫レハ何ウ云フ譯テアルカト云フト債權者カ過失ナク又ハ意思
カアツテ受クヘキモノヲ受ケナイト云フ場合ニ於テ遲滯ノ責ニ任

スヘキコトハ之ハモウ前ニ説明ヲ俟タナイコトテアリマス乍併償
 權者ニ意思モナイ響ヘハ病氣ノ場合ノ如キ如斯場合ニ於テ若シ引
 渡スコトカ出來ナイト云フ場合ニ於テ是カ爲ノニ債務者ニ迷惑カ
 生シ損害カ生スルト言ツタナラハ其損害ハドチラガ受ケナケレハ
 ナラヌカ双方共通失モナイ其過失等ノ點ニ於テハ双方共ニ平等ノ
 位置ニ居ル然ニ一方ハ法律ニ從ヒ債務ノ本旨ニ從ツテ悉ク此履行
 ノ手續ヲ了ツテ居ル夫レテ尙ホ其目的物ト云フモノハ結局ニハ債
 權者ニ歸スヘキモノテアツテ双方平等ノ位置ニ在ルトキニ悉ク自
 分ノ爲スヘキトキニ爲シ了ツタ者ガ矢張り迷惑ヲ負ハナケレハナ
 ラヌカ或ハ賣買ノ目的物ト云フモノハ或ハ目的タル權利テモ宜シ
 ウゴザイマス買主ニ歸スヘキモノテアル其時ノ即チ債權者ノ方カ
 其迷惑ト云フモノヲ負フヘキモノテアルカ詰リ此問題ニ歸スルノ
 テアリマス既ニ外ノ理由モアリマスケレトモ彼ノ危險ノ規定杯ニ

於テモ危險ハ其物ノ結局スル所ノ者カ負フト云フコトニ爲ツテ居
 リマス此場合ニ於テモ一方ハ悉ク之ヲ爲スヘキ事ハ爲シ了ツテ居
 ツタ一方カスルコトノ出來ナイ事情カ起ツタノハ其不幸ハ天災テ
 モ例ンテモ受取ル方カ妨ケラレヌ天災ノ爲メテアラウトモ其他病
 氣ノ爲メテアラウトモ妨ケラレタ者ハドチラカト云フト債權者ノ
 方カ妨ケラレタノテアリマスカラ其不幸ノ結果ドチラカ損失ヲ受
 ケナケレハナラヌカト云ヘハ債權者カ受ケルノカ當然ノコトテア
 ルト思ヒマス夫故ニ瑞西債務法杯ニ於テハ「其受取リヲ拒ムトキ
 ハ」トカ或ハ棄還杯ニ於テハ「不法ニ拒ム」トカ云フヤウニ書テ
 アリマスガ換太利ハ何時モ言葉カ簡單テ能ク分リマセヌガ言葉丈
 ケテ見ルト「受取ヲ遲延シタルトキハ」ト書テアリマス獨逸杯テ
 ハ説明テ分ツテ居リマスガ單ニ「受取ラサルトキハ」トアリマス
 之テモ言葉丈ケテハ分リマセヌガ其理由書杯ヲ見マサルト「受取

ラサル事實アリタルトキハレト云フ風ニ説明シテアリマス又獨逸民法ノ賣買ノ所ニモ矢張り二重ニ規定カアリマシテ「買主ハ之ヲ受取ルヘキ義務ヲ有スル」ト云フコトカ書テアリマス何ウモ此受領スルコト能ハサルトキニ其責任ヲ負ハスノハ甚タ氣ノ毒テハアリマスガ去レハト言ツテ之ヲ債務者ニ負ハスノハ尙更氣ノ毒テアリマスカラ即チ其賣買ノ目的物タルモノガ其結局ニ歸スル所ノ人ニ此責任ヲ歸スルノカ至當テアラウト思ヒマシテ夫故ニ四百十二條トシテ即チ債務者ノ遲滞ノ後ニ此一箇條ヲ加ヘテ債權者ノ方ノ規定ヲ此處ニ置キタイト存シマス或ハ之ヲ四百十一條ノ第三項トシテ條數ヲ變ヘスニ此修正ヲ加ヘヤウカトモ考ヘマシタガ整理ノ時ニ當ツテ四百二十四條四百二十五條等ハ之ヲ併セテ一箇條ニスルコトヲ附求シヤウト思ヒマス其處ラハ甚タ不完全テアリマスカラ一箇條ニ併セル積リテ此處ニ此一箇條ヲ挿入スル爲ノニ悉ク他

ノ箇條ノ條數ヲいちツテ來ルト云フ不便モアリマセヌ然ウシテ見ルト債務者ノ遲滞債權者ノ遲滞ト云フモノチ一箇所ニ置クノガ宜シイト思ツテ提出シタ譯テアリマス
議長（笑作麟祥君） 此方ハ期限ノ定カアルトキトカナイトキトカ云フヤウナ區別ノコトハ要リマセヌカ

穂積陳重君 夫レハ要ルマイルト思ヒマシタ即チ此受取ルヘキトキニ受取ラナカツタト云フ方

議長（笑作麟祥君） 期限カアラウガ無カラウガ

穂積陳重君 ハイ

長谷川喬君 私ニハ分リマセヌカラ伺ヒマスガ本條ハ詰リ危險問題、重モニ

穂積陳重君 損害賠償又ハ利息ノ附クヘキトキハ遲滞利息トカ其問題ニ歸シマス夫レカラ「遲滞ノ責ニ任ス」ト云フト勿論、、、

長谷川喬君 此四百九十五條四百九十七條テハ足りマセヌカ

穂積陳重君 供託テハ何ウモ足りマセヌ供託テハ物カ、、、

居リマス之ハ努力テモ何ンテモ之ニ還入ル積リテアリマスカラ

長谷川喬君 提供ハ何ウテゴザイマセウカ四百九十五條ハ提供ノ、

、、、一切ノ責任ヲ免レル

穂積陳重君 夫レハ債務者カ免レル

長谷川喬君 債務者カ免レルト云フト詰リ債權者ニ歸スルト云フコ

トニ爲リハシマセヌカ

穂積陳重君 イヤ債務者カ履行ニ付テノ責任ヲ免レルト云フコトハ

必ス債權者カ夫レニ付テ責任ヲ負フト云フコトニハ爲ラヌ、爲ラ

ヌ所テナイ少シモ關係カナイコトカアリマス此時ヨリ危險カ移ル

トカ何ントカ云フヤウナ事カ書テアレハ何ンダカ

議長（笑作麟祥君） 四百九十五條ノ「辨濟ノ提供」ト云フコト丈

ケテハ意味カ狭マ過キテ往ケナイト云フノテスカ

梅蘭次郎君 夫レテモ狭マ過キテ往ケマセヌ

穂積陳重君 努力テモ何ンテモ還入ル積リテアリマスカラ之ヲシテ

ヤラウト言ツテヤツテ來タ所ガ夫レハ出來ル

議長（笑作麟祥君） 如何テスカ勸諭版ノ四百十二條ニ付テ別ニ御

發議カナケレハ本條ハ修正通りニ決シマス今晚ハ是テ散會致シマ

ス

干時午後九時 散會

第八十八回法典調査會議事速記錄

明治二十八年五月二十日午後四時二十五分開會

出席員

- 侯爵西園寺公望君
- 笑作麟祥君
- 本野一郎君
- 土方寧君
- 田部芳君
- 穂積八東君
- 鳩山和夫君
- 奥田義人君
- 井上正一君
- 穂積陳重君

- 富井 政章 君
- 梅 謙次郎 君
- 横田 國臣 君
- 菊池 武夫 君
- 南部 變男 君
- 長谷川 喬 君
- 磯部 四郎 君
- 三浦 安 君
- 中村 元嘉 君
- 西 源四郎 君

議長（西園寺侯）是ヨリ會議ヲ開キマス

（書記朗讀）

第五百七十六條 未タ引渡ササル賣買ノ目的物カ果實ヲ生シタル

トキハ其果實ハ賣主ニ屬ス

買ハ引渡ノ日ヨリ代金ノ利息ヲ拂フ義務ヲ負フ但代金ノ支拂ニ
付キ期限アルトキハ其期限ノ到來マテハ利息ヲ拂フコトヲ要セ
ス

- （参照）取七六、佛一六一四、二項、一六五二、澳一〇五〇、
一〇五一、一〇六四、關一五一七、二項、一五五一、伊
一四七〇、二項、一五〇九、備一五七三、一五七五、瑞債
務法二六六、グチー一四四、二項、グラウブユンデン四
〇三、二項モンテネグロ二二九、西一四六八、二項、一五
〇一、白草一六六四、二項、一六八九、獨一草四六七、同
二草三八七、三九一

梅謙次郎君 本條ハ取得編ノ第七十六條ト粗々精神ヲ同シウ致シタ
ノデアリマス第一ニハ既成法典ニハ果實カ引渡迄ハ賣主ノ所有ニ

屬スルト云フコトハ何處ニモ書イテナイノテコサイマス是カ大ヒ
ナ欠點テアラウト思ヒマス佛蘭西和蘭伊太利ヅチー西班牙白耳義
民法草案獨逸民法草案等ニハ總テ此事ヲ言フテ居リマスノテスケ
レトモ取得編ノ第七十六條ヲ能ク味ツテ讀ンテ見マスト暗ニ本案
ノ如クニナラウト思ヒマスガ併シ理由書ヲ讀ンテ見マストサウテ
アリマセヌテ引渡前テアツテモ若シ物カ果實ヲ生スレハ其果實ハ
矢張り買主ニ引渡サナケレハナラヌト云フコトニ書イテアツテソ
レ所テハナイ此場合ニアツテハ買主ハ利息ヲ拂ハナケレハナラヌ
ト云フコトニ書イテアリマス是ハ七十六條ノ明文カアツテハ餘程
無理ナ説明テアラウト思フ「買主ハ引渡ノ時ヨリ當然代金ノ利息
ヲ負擔ス」斯ウ書イテアリマスカラサウスルト引渡前ニハ利息ヲ
拂ハヌテモ宜イト云フコトカ無論出テ來ルヤウニ見ヘマス是ハば
あそなあーご氏ノ草案ノ理由書ニサウ云フコトカ書イテアツテモ

此七十六條ノ明文ニ對シテハ到底ソナ解釋ハ出來マセヌト思ヒ
マスサウスレハ本案ノ如クテアラウト思フ而シテ本案ノ主義ハ多
少ノ議論ハアリマスケレトモ伊國モ斯ヤウニナツテ居ルト解シマ
スソレカラ澳太利、尤モ澳太利ノハ少シ書キ様カ違ヒマシテ其引
渡スヘキ時カ極マツテ居レハ假令ヒマダ引渡サヌテモ其果實カ買
主ノ物ニナルトナツテ居ル和蘭ヅチー白耳義民法草案獨逸民法草
案、尤モ獨乙民法草案ハ引渡前テアツテモ不動産テアレハ登記カ
濟ノハ登記ノ時カラ果實ハ買主ノ物ニナルト云フコトニナツテ居
ル即チ是ハ危險問題ト伴ナハレテチルソレカラ反對ノ方テ賣買ノ
時カラ果實ハ買主ノ物ニ爲ルト云フノカ伊太利葡萄牙西班牙、ソ
レカラモンテネグロハ所有權移轉ノ日カラト云フコトニナツテ居
ツテ實際ハ殆ント同シテアリマス斯ウ云フ風ニナツテ居リマス本
案ニ於テハ此危險ハ債權者ノ負擔ニ歸スルト云フコトニナツテ居

ツテ即チ契約ノ日カラ物ニ關スル危險ハ債權者カ負擔スルコトニ
ナリマシタカラ其主義カラ生スル所ノ當然ノ結果ヲ申シマスレバ
契約ノ日カラ買主カ果實ヲ取ルト云フコトハ當然ノコトテアラウ
ト思ヒマスケレトモ能ク考ヘテ見マスト若シ第一ニ果實ヲ買主ニ
與ヘマスレハ其果實ノ負擔タルヘキ費用ト云フモノ法典ノ言葉テ
言ヘハ小修繕、小修繕ハ果實ノ負擔タルヘキモノト云フコトハ法
典ニ極マツテ居マシテ本案テモサウ云フ規定ヲ設ケル必要カアル
カト思フテ居リマス整理ノ時ニサウ云フ案ヲ出シマスカモ知レマ
セヌ是レハ果實ヲ取ル人カ畢竟負擔シナケレハナラヌサウスレハ
其費用タケノコトハ買主カ果實ヲ取ツタ代リニ賣主ニ償ハナケレ
ハナラヌト云フコトニナルサウスレハ随分煩ハシイモノテアル第
二ニハソレハ兎ニ角代金ノ利息ヲ付ケステサウシテ物ノ果實ハ買
主ニヤツテ仕舞ウノハ不公平テアル代金ト雖モ利用スレハ利息ト

云フ果實ヲ生スルモノテアル又金錢ハ利用シ易イモノテアリマス
カラ果實ヲ買主ニ與ヘル以上ハ利息ヲ附ケサセナケレハ不公平テ
アルケレトモ賣買ノ場合ニ於テ買主カ直チニ代金ヲ拂ハヌ以上ハ
イツモ利息ヲ拂ハナケレハナラヌト云フコトハ一ツニハ日本ノ慣
習ニ背キ二ツニハ大變煩ハシイコトテアル果實ト利息ト取換ヘツ
コチスルヨリハ率口便宜ノ爲メニ果實ト利息ト竝ニ保存ノ費用ト
云フモノトノ相殺シテ仕舞ツテ引渡ス迄ハ賣主ノ方テ保存費用又
利息ヲ取ラヌ代ハリニ果實モ自分ノ物ニスル、引渡後ハ賣主カ保
存費用ト利息ヲ取ツテ果實ヲ買主カ取ルト云フコトニナル方カ大
變簡明テ宜カラウト思ヒマス外國ノ方テモサウ云フ例ノ多イノハ
サウ云フ意味ナノテアラウト思フ第三ニハ本條ノ第二項ノ但書、
之ハ既成法典ニハナイノテスケレトモトウモ必要テアラウト考ヘ
マシタ即チ其引渡ハ先ヘシテ仕舞ツタケレトモ代金ハ直クニハ取

レナイ約束テアル成ル期限ヲ附シテアルト云フト其期限ノ到來ス
 ル迄ハ利息ヲ拂ハナイ何セト言ヘハソレ迄ハ拂ハヌテモ宜イモノ
 テアルカラドウモ拂ハヌデモ宜イモノニ付テ利息ヲ拂ウノハ程カ
 テナイト云フコトカラ第二項ノ但書ヲ書イタノテ外國ノ例ヲ見マ
 スト葡萄牙瑞西債務法グラウブユンデンノ民法獨乙民法草案ナト
 ニハ單ニ期限ノ日カラ利息ヲ拂ハナケレハナラヌトアリマスカラ
 此方ニ依テ見ルト引渡前ニ期限ノ到來シタ時分ニハ買主ハ果實モ
 取レヌサウシテ利息ハ拂ハナケレハナラヌト云フコトニナリマス
 是レハ少シ不公平ニナラウサウスレハ賣主ハ果實モ自分ノ物トシ
 テ利息モ賣ウト云フコトニナリマスカラ其主義ハ取ラヌ只引渡後
 ニ期限ノ到來シタ場合丈ケニ付テ例外ノ規定ヲ設ケマシタ
 横田國臣君 全体私ハ言ハネハナラヌコトカアルガソレハ今日ニナ
 ヲテハ仕方カナイガ原則カラ既ニ契約カラシテ此權利ノ移ルト云

フコトヲ原則シタ以上ハ仕方カアリマセヌ只一ツ茲ニ御尋ネシタ
 イノハ果實ト利息ト云フモノヲ相殺スルト云フコトヲ御極ノニナ
 ツタガ之ニ付テハ原則カ既ニ定マツタ以上ハ是ハサウ悪ルイトハ
 思ハヌガ前ノ果實ハドウスルカト云フコトカ疑ヒカアル買主カ代
 金ヲ先キニ拂ツテ居ルサウシテ引渡ハ受ケヌト云フサウスルナラ
 ハ其代金ヲ拂ツタ以後ノ果實ト云フモノハ買主ニ屬セネハナラヌ
 ト云フコトハ道理上カラハ出テ來ネハナルマイ若シ果實ト云フモ
 ノト代金ノ利息ト相殺スルト云フコトナラハ、ケレトモ此文字ノ
 上カラ見ルトドウモサウハナリ得ヌ假令ヒ代金ハ拂ツテモガ引渡
 ス迄テハ其果實ト云フモノハ賣主カ取ルト云フヤウニ見ヘル併シ
 乍ラ道理ハサウテハアルマイヤウニ思フ其點ハドウ云フモノテア
 リマセウカ

梅謙次郎君 ソレハ一度買主カ引渡ヲ先へ受ケテモ代金ノ支拂ニ付

テ期限ノアル場合ニハ其期限カラ後ニ初メテ利息ヲ拂ウト云フノ
 ト丁度同ジ理窟ヲ契約ノ結果テ代金ヲ先ヘ拂ハナケレハナラヌ極
 ハメテ稀レナ場合テアリマセウガ代金ヲ先ニ拂ハナケレハナラヌ
 サウシテ引渡ハ後ニシナケレハナラヌト云フ場合ニハ矢張り當事
 者ニ引渡ニ付テ期限ヲ與ヘタノテアリマスカラ其引渡ノ期限ノ盡
 キル迄ハ其當事者ニ於テ果實ヲ賣主ニ與ヘルト云フコトハ此規定
 カナイ以上ハ當事者ノ意カサウテアラウト云フコトカ多カラウ就
 中利息ト果實ト相殺スルト云フ方カ至當テアルカハ知リマセヌガ
 尙ホ其外ニ保存費ト相殺スルト云フコトカアルカラ若シ場合カ多
 ウケレハ或ハ特ニ規定スル必要カアルカ知レマセヌガ實際ニ於テ
 ハ代金ノ返戻ハイツテモ請求ハ出來マスガ代金チ一旦拂ツテ仕舞
 ツテカラハ中々又取返ヘスト云フコトハ出來ナイ賣主ノ方テハ已
 ムコトヲ得ナケレハ品物ヲ扣ヘテ居ツテ代金ヲ受取ルマテハヤラ

ヌト云フコトモ出來ル一旦引渡シテモ動産ナラハ物カソコニアリ
 マスカラ或ハ先取特權ナトモアツテ大變都合カ宜イ買主ノ方テ先
 ニ代金ヲ拂ツテ仕舞ウト云フコトハ澤山アリマスマイト思ヒマス
 カラ之ニ付テ特例ヲ設ケル程ノ必要ハナイト思フガ如何テアリマ
 セウ

横田國臣君 代金ヲ先ニヤツテ置クト云フコトハ實際多イト思フ引
 渡ノ期限チイツ迄ト定ノテアルノハソレハ何モ申ス必要ハナイ位
 ナモノテアリマスカラ最初カラ代金ヲ渡シテ置イテサウシテ引渡
 ノ後レタ場合ニハ斯ウセヌテモ甘ク原則カ書ケサウニ思フ併シ起
 草者ハサウテナイ、代金ヲ先ヘヤツタ場合モサウタト云フナラハ
 格別テアリマスガサスレハ起草者ノ相殺スルト云フ原則ニ戻ルヤ
 ウニ思ハレル

議長（西園寺侯） 修正説カ出ルノテアリマスカ

横田國臣君 修正シタカ宜イト思フ

議長（西園寺侯） 明カニ書イテアル

梅謙次郎君 果實ヲ生スルモノト言ヘハ實際ハ殆ト不動産丈ケテアルソレテアリマスカラ不動産杯ニ付テナイトハ申シマセヌ稀レテアリマス不動産テアリマスレハ代金ヲ先ヘ拂ツテ置ク引渡スト言ツテモ場合ニ依テハ一日ヤ二日後レルカ知レマセヌガ、登記ヲ済マサナケレハ金ヲ拂ハヌ登記ヲ済マサヌ場合ハ特ニ約束チシテ貸渡シテ置ク時ニハ別段此時ハ家賃トカ地代トカ拂ウ左モナケレハ直クニ金ヲ渡セハ引渡ヲ受ケルト云フコトカ多イト思フ動産杯ニ付テモ馬カ子ヲ生ム迄引渡ヲ受ケスニ金ヲ拂ツテ置クト云フコトハ毎度ハナイト思ヒマスガ併シソレガアルナラハ入レテモ宜ウコサイマス

土方 寧君 此原案者ノ趣意ハ能ク分ツテ居リマスガ此規定ハ少シ

變ヘタイト思フト云フノハ既ニ議決ニナリマシタ第五百三十二條ニ「特定物ニ關スル物權ノ移轉ヲ目的トスル双務契約ニ於テ其物ガ債務者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其滅失又ハ毀損ハ債權者ノ負擔ニ歸ス」ト云フコトニナツテ居リマスノテ結リ特定物ニ關スル物權ノ移轉ヲ目的トスルト云フ場合ハイツモ買主カ危險ヲ負擔スルト云フコトニナツテ居リマスカラ之ニ付テハ若シ目的物ニ付テ果實ヲ生シタナラハ買主カ取得スルト云フコトニナラヌトドウモ危險負擔ト云フコトニ付テ權衡カ合ハナイト思フ此五百七十六條テハ買主カ支拂ウヘキ代金カアレハ利息ト果實ト相殺スルト云フコトニナツテ簡便デ宜イト云フコトテアリマスガ或ハサウカ知レマセヌガ實ハ目的物ノ引渡ヲ受ケテ賣主ノ方ニ代チ支拂ウヘキテアルソレヲ拂ハナカツタナラハ買主カ義務ヲ怠ツタノテアリマスカラ賣買ノ約束ノ效力トセヌ

テモ法律ニ依テ損害ノアツタ場合ハ損害賠償力取レルト思フ又目的物ノ引渡ヲ受ケテ其時ニ代金ヲ拂フヘキテアルノニ長イ間拂ハヌテ償クト云フ場合ハ少ナカラウト思フ其代金ヲ期限ニ拂ハヌテ幾月トカ怠ツテ居ツテ致ニ果實ト利息ト相殺スルト云フコトカアリマスガ併シ實際ノ場合ニ付テ言ヘハ果實カ生シナカツタ然ルニ買主ノ方テハ引渡ヲ怠ツタカラ代價ヲ後テ拂ウト云フト相殺スヘキコトカナイ現ニ賣買ノ目的物カナイト云フコトハ屢々アリ得ルソレテアルカラ目的物ヨリ果實ヲ生スルト云フコトト代金ヲ拂ウヘキ時ニ拂ハナカツタカラ其利息ヲ拂ウト云フコトト一般ノ場合ニシテ想像シテ見レハ公平テアリ便利テアルト云フコトハ言ヘマセウガ格段ナル場合ニ付テ言ヘハ格別公平ナ論トハ思ハヌ私ハ五百三十二條ニ所有權移轉ノ如何ニ拘ハラズ危險ハ其時カラ買主ニ移ルト云フナラハソレト釣合ウヤウニ買主カ買ツタ時カラ移ルト

云フコトニ改メテ宜イト思フ全体既ニ議決ニナリマシタ物權ノ所ニ所有權ト云フモノハ當事者ノ意思テ以テ設定シ移轉スルコトカ出來ルト云フコトカアル其精神テ五百三十二條カナカツタナラハ十分テアラウト思フ何セナレハ所有權ヲ所有シテ居ル人ナラハ其所有物ヨリ生スル果實ハ所有者カ取得スルト云フノハ當リ前テアル又其所有物カナクナレハ誰レカ損チスルカト言ヘハ所有者本人カ損チスルノカ當リ前テアル所有物カ無クナレハ自分カ損チスルヨリ外ニ仕方カナイ合意ノ目的物ハ所有權カ移ルト共ニ危險カ移ル其代リ果實ハ當然取得スルト云フコトニナルカラ若シ前ノ物權ノ總則ノ通りニ五百三十二條カアツタガ宜カラウト思フガソレニ釣合ウ爲ノニ果實ト云フモノヲ得ナケレハ不權衡ト思ヒマスカラ此五百七十六條ノ第一項ノ終リノ「其果實ハ賣主ニ屬ス」ト云フノチ改メテ「其果實ハ買主ニ屬ス」ト云フコトニ此處テハはつき

リ極ノテ仕舞ウ、、、、、

富井政章君 ソレナラ寧口何モ書カヌテ黙ツテ居レハ宜イ

土方 寧君 サウハ思ハヌ此問題ニ付テハ五百三十二條ノ所テ少シ

意思ヲ述ヘテ置キマシタガ其事ハ賣買ノ方テ極マルト云フコトテ
アリマシタ其時ノ私ノ議論ハ五百三十二條ハ危險ハ買主カ負擔ヲ
スルガ果實ハドウテアルカト云フト當然取得者カ取得スヘキモノ
テアルト云フコトニドウシテモろじつくガサウナル、所カ所有權
ノ移轉シナイ場合ニ特ニ法律ノ規定テ當事者ノ意思ノ解釋デ危險
ハ買主カ負擔シ果實ハ賣主カ取得スルト云フト所有權ノ原則ヲ打
破フルコトニナルソレハイカヌト云フコトヲ御話シシタガソレハ
賣買ノ所テイヅレ極マルト云フコトテアリマシタカラ此五百七十
六條ノ一項ヲ改メテ買主カ果實ヲ取得スルト云フコトニシテモ矢
張り書イテ置カナケレハナラヌ何セナラハ公平ト云フコトハ論理

カラ起ツテ來ルカ危險ハ負擔スルソレダカラ果實モ取得、スルト
云フコトハ公平論カラハ言ヘルガ法律ノ規定トシテハ必ス生スル
結果テナイカラ私ノ考ヘテハ五百七十六條ノ一項ヲ削ツテ置イテ
同シニナルト云フコトハ言ヘヌト思フ矢張り前ト鈞合ウ爲メニ「
買主ニ屬ス」ト云フコトニ書イテ置カナケレハナラヌサウシタ所
テ二項テス二項ハ少シ書キ變ヘタラドウカト思フ但書ト本文ト一
緒ニシテ仕舞ツテ代金ノ猶豫ヲ與ヘテアルトキハ宜イガ猶豫ヲ與
ヘテナイトキハ引渡シタ時カラ代金ノ利息ヲ拂ウ或ハ其方ハ言ハ
ナクテモ宜イト思フ代金ヲ支拂ウ義務ヲ忘ツタ爲メニ賣主ニ損害
ヲ生シタナラハソレテ賠償シナケレハナラヌソレハ法文ニ設ケナ
クテモ宜イト思フソレテ私ノ考ヘハ「賣主」ヲ「買主」トシテ五
百三十二條ノ權衡ヲ保ツヤウニシナケレハナラヌト思ヒマス
美作麟祥君 一寸伺ヒマスガ本條ノ此「果實ハ賣主ニ屬ス」ト云フ

ノハ百九十四條ノ所テ善意ノ所有者ハ果實ヲ取得スト云フコトガ
審イテアルガ其例外ヲ審イタノテアルト思フテ居リマスガドウテ
スカソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ「其期限ノ到來マテハ利息チ
拂フコトヲ要セス」ト云フノハ先刻横田君ノ御質問ヲ見マスト果
實ト利息ト相殺スルト云フ御話シテアリマシタガサウ云フコトニ
ナルト或ハ果實チ生セサル所ノ物ノ賣買ノ場合ニハ當テ候ラヌヤ
ウテアリマスガ是ハサウシナクシテ引渡ト云フモノテシタ以上ハ
果實カ生ジ様カ生シマイガ生スルト生セサルトチ問ハス其時カラ
其目的物ヲ買主ノ方ニ自由ニ處分スルコトガ出來ルト云フ利益カ
アルカラ果實ノコトニハ構ハヌ利息チ拂ウト云フ方ノ原則ヲ御立
テニナツタト思ヒマスガ矢張り果實ト利息ト相殺スルト云フノテ
アリマスカドウモ主義カニツトモ能ク分リマセヌ

梅謙次郎君 第一ノ御問ハ賣主ナド云フ者ハ普通ノ占有者トハ違ヒ

マシテ若シ強ヒテドチラカト言ツタラ善意ノ占有者ト思フ何セカ
ト言ヘハ最も多クノ場合ニハ自己ノ所有物テナイソレテアリマス
カラ自己ノ所有物テナイト知ツテ居ル賣主ハ果實ヲ取ルコトハ出
來ナイト云フ方ニ占有ノ方ノ規則ヲ當嵌メタラ不都合ト思フ若シ
之カ占有ノ例外ト見ルナラハ賣主ト云フ者ハ惡意テアルカラソレ
テ果實ハ取レナイト云フコトニナルカ知レマセヌガ惡意ト云フコ
トガドウモ一般ニハ言ヘナイト思ヒマシタノデアリマス所有權ノ
稀レナ場合トハ言ヒ乍ラ所有權ノ移ラヌ前ニハ所有權ノ果實カ伴
ナウノハ原則ト思ヒマシタカラサウスレハ惡意トハ少々言ヘナイ
ト思フ要スルニ此規則ハ占有トハ少シ種類ノ違ツタ規則ト云フ方
カ權カト思フ第二ノ御問ハ初ノニ説明チシテ置イタ方カ宜カツタ
ノテスガ既成法典ニハ果實カ生スルカ又ハ金錢ニ見積ルコトヲ得
ヘキ定期ノ利益チ生スルトキハ限ツテ利息チ生スルト云フコトニ

ナツテ居リマス然ルニ本案デハ金銭ニ見積ルヘキ利益金銭ニ見積ルヘカラサル利益ト云フモノハ本條ニ區別ヲ立テ置クノハイカヌ私共ノ考ヘテハ利益ヲ金銭ニ見積ラウト思ヘハ見積レル殊ニ況ンヤ動産トカ不動産トカ有体物ノ方ハ是ハ必ス財産上ノ利益ニハ違ヒアリマセヌカラ財産上ノ利益ハ必ス金銭ニ見積レル若シ物ヲ引渡シテモ其物ヲ買主ノ方デ利用シナカツタ爲ノニ利益ヲ得ナカツタト言ヘハソレハ買主ノ不注意ヲ賣主ノ過失テナイ又賣主ノ方テハ引渡チスレハ十分財産上ノ利益ヲ得ラレヌカラソレニ對シテ利息ヲ拂ハヌテモ宜イ斯ウ云フ考ヘカラ此案ヲ出シタノテアリマス序テニ申シテ置キマスガ其引渡前ニ付テノ有様ニ付テモ矢張り同シコトデアラウト思ヒマス果實ハ賣主ニ屬スルト云フコトヲ審カナイト出テ來ヌカラ審キマシタカ是レト同時ニ賣主カ物ヲ賣渡シテモ之ヲ使用シテ差支ヘナイサウスレハ自分カソコニ住ヘハ直接

ニ果實ト云フモノハ得マセヌガ外ノ所ニ住ヘハ人ノ家ナラハ借賃ヲ拂ハナケレハナラヌ又自己ノ家カ他ニアレハ人ニ貸シテ其方カラ利益ヲ取レマスカラ矢張り利息ト相殺スルト云フコトハ飽マテ買イテ居ル果實又ハ果實ト同シヤウナ利益ト代金ノ利息トイツモ相殺スルト云フコトハ言ヘルト思フ又假令ヒ果實ハ生シナクテモ必ス夫レト同一視スヘキ利益ハアルモノト見タ

長谷川喬君 大体ハ私モ土方君ニ賛成デアリマスガ土方君ハ本條ヲ削除シテハイカヌト言ハレタガ私ハ削除シタ方カ宜イト思フ「賣主」ヲ「買主」ニ改ノルト云フコトニハ賛成ハ出ヌ何セト云フニ此本條ノ來歴ヲ尋ネテ見ルトドウモサウハ出來ナイ土方君ノ引カレタ五百三十二條ト云フモノガ其以前ニ三百九十九條トナツテ出タノデアリマス其三百九十九條ハ何ニガ本ニナツタカト云フト既成法典ノ財産編ノ三百三十五條等カ本ニ爲ツテ出タノデアリマス

ソコデ其時ニ私ハ御尋ネシタノニ此既成法典ノ三百三十五條ニ依
ルト授與スル行爲カ特定物ヲ目的トスルトキハ意外ノ事又ハ不可
抗力ニ出テタル其物ノ滅失又ハ毀損ハ諾約者カ危險ヲ負擔シタル
場合及ヒ停止條件ニ關スル規定ヲ除ク外要約者ノ損ニ歸シ其物ノ
ノ増加ハ要約者ノ益ニ歸ス」トナツテ買主ハ危險ヲ負擔シ又増加
モ負擔スルト云フコトカ定メテアル然ルニ今度ノ三百九十九條ニ
ハ危險滅失タケマツテ増加ノコトカ規定シテナイカトウカト云フ
コトヲ御尋ネシタ所カソレハ三百九十八條ニ現狀ニテ引渡ヲ爲ス
コトヲ要スト云フコトカアルカラ現狀ノ儘ヲ引渡スカラ宜イト云
フ御答辯テアツタ成程シテ見レハサウ云ハレヌコトモアルマイト
思ヒマシタカラ其時ハ止ノマシタ所カ五百三十二條ヲ讀スルトキ
ニ矢張り土方君ハ増加ノコトヲ入レナケレハナラヌト云フコトヲ
言ハレマシタガ起草委員ノ御答ヘテハ三百九十八條カアルカラ宜

シイト云フノテ五百三十二條ハ其儘濟ンタコトテアリマスサウス
ルト五百三十二條ノ趣意カラ見ルト増加ノコトハ茲ニ書イテナイ
ガ當然所有者ニ歸スヘキモノテアルト見ナケレハナラヌソレテア
ル故ニ五百三十二條カアリサヘスレハ本條ハ要ラナイ筈テアリマ
スノニ殊更ニ之ヲ置イテ置タト五百三十二條ハ只滅失タケノコト
ヲ極メタノテアツテ増加ノコトハ規定シテナイ増加ノコトニ付テ
ハ特ニ賣買ノ所ニ本條カアルカラ其他ノ場合ハ反對テアルト云フ
ト云フコトニ推測ヲ來サナケレハナラヌカラ此條カアルカ爲メニ
却テ惡ルカラウト思フ五百三十一條カアレハ是カナクテモ土方君
ノ言ハレル通りニナラウト思フ理窟カラ考ヘテ見テモ土方君ノ言
ハレル通り危險モ果實モ共ニ所有者カ負擔スルカ當然ト思フ茲ニ
本條ヲ極メテ賣主カ負擔スルト極メタノハ利息ト果實ト相殺スル
カラ便利テアル或ハ保存費用ト相殺スルカラ便利テアルト云フコ

トテアリマスガ其相殺ト云フコトヲ貫クコトテナイコトハ初ノ横
田君カ辯セサレタコトニ付テモ明瞭テアリマスカラ茲ニ便利法ト
シテ償ク必要ハアリマセヌカラ私ハ削除説ナラハ賛成シマスガ此
償價クコトニハ賛成カ出来マセヌ

横田國臣君 土方君ノ御説ハ至極御尤モテアリマス併シ乍ラ實際ハ
餘程起草者ノ案ハ便利ト思フ便利ト思フガ此二項ハ非常ニ差支ヘ
カ起ル其差支ヘガ起ルト云フノハオマヘノ物ヲ千圓ヲ買ウソレテ
ハ賣ラウト言ツテ置イテ其後ニ一ヶ月モ二ヶ月モ經テカラ後ニ往
クト其利息ヲ下サイト云フノハソレハドウモ餘リサウ云フ償價ハ
私ハアルマイト思フソコテ私ハ二項ヲ削ツテ仕舞ツテサウシテ一
項ニ一但代價ヲ支拂ヒタル後ニ生シタル果實ハ此限ニ在ラスレト
カ云フコトニシタイサウスレハ利息ヲ拂ウトカ何ントカ云フコト
ハ最早無クナツテ仕舞ウナクナツテ仕舞ツテ其意ハ矢張り起草者

ノ通りテアラウト思フソレテ私ハ此文テハドウテモマダ足ラヌ所
カアルト云フコトハ起草者ハ必ス御考ヘノコトテアラウト思フソ
レテゴザイマスカラ此一項ノ但書ヲ只今ノ如ク修正シタイ尙ホ文
章ハ起草者ニ譲ツテ載キタイガ如何々ナモノテアリマセウ

梅澤次郎君 或ハ其方カ宜イカ知レマセヌカ是迄考ヘテ居ツタコト
トハ少シ違ツテ居リマス仰セノ通り是迄一旦賣買ノ代金ニ利息ヲ
附スルト云フコトハ償價ニナイノテアリマスガソレヲ申スト前ノ
損害賠償ノ所ヲモ拂ウヘキトキニ金ヲ拂ハナカツタラ利息ヲ附ス
ルト云フコトモ善クナイソレモ悪ルイコトテアレハ反對ノ償價カ
ばーちーぶニ言ヘルナラハサウテアリマスガ成ルヘクハサウシタ
クナイ明カナ償價カアル場合ハ止ムコトヲ得スシテ成ルヘクハ斯
ウ云フコトニシタイ斯ウシタ方ガ公平テ日本ノ今日ニ適スルト思
フソレテ前ノ損害賠償ノ規則ノ所ト同シヤウナ考ヘテ、實ハ極私

共ノ本當ノ希望ヲ言フト果實ハ賣買ノ時カラ買主ニヤツテサウシ
テ其代リ賣買ノ時カラ利息ヲ拂ハシタイソウスレハ餘リ償習ニ背
クト思フノテソコデ此處ニ少シ折衷ノ案ヲ出シタ位テアリマスカ
ラ只今横田君ノ御話シノヤウニナルト其主義カ消ヘテ仕舞ウ
横田國臣君 ドウテゴザイマセウイツ迄ニ拂フト言ツタトキハ其期
限後ノ利息ハ拂ウノハ當リ前ト思フガ期限カナイモノナラハ果實
カ生スルト云フナラハ其果實ヲ賣主カ取ルカラ何ノコトモナイソ
レ迄ニ果實ヲ生セヌ物ニソレモ利息ヲ取ルト云フノハ却テ償習ニ
トウトカ何ントカ云フニ拘ハラスサウ云フ規則ハイカヌト思フ期
限後ニモ拂ハヌト云フ方ニハ利息ハ當然附イテ宜カラウト思フ
土方 率君 私ハ長谷川君ト同意見テアツテサウシテ議場ノ議題ト
ナツテ現ハレルノハ違ツテ來ルノハ残念ト思フ私ハ賣主ト云フノ
ヲ買主トシテ置カナケレハナラヌト思フノニ長谷川君ハ此條ヲ削

日本學術振興會

ツタナラハオマヘノ言フヤウニナラウト云フコトテアリマシタガ
尙ホマダ能ク分リマセヌカラ御協議旁々長谷川君ニ申シテ見タイ
本來私ノ考ヘハ特定物ニ關スル物權ノ移轉ヲ目的トスル双務契約
ノ場合ハ所有者カ危險ヲ負擔スルト云フコトヲ原則トシテ置イテ
果實取得ト云フヤウナコトハ所有權ノ當然ノ結果トシテ取ルト云
フコトニシタガ宜イト思フ極クハツキリシタコトテ理窟モ立ツテ
居ツテ便利デアラウト思ヒマスガ併シナカラ物權ノ所ノ百七十八
條ヲ合意ノミテ所有權カ移ルコトニナツテ居リマスガ其所有權ノ
移轉ヲ單一ナル標準トセヌテ其外ニ危險ノ問題ヲ決スルノハ五百
三十二條ニ定メタルアルソレハ所有權ヲ移轉スル移轉セヌニ拘
ハラヌ結局所有者カ負擔スルト云フノガ公平テアルト云フ論カ立
ツタノテアリマスガ併シ乍ラ危險ノ負擔ハ法律ノ規定ニ依テ債務
者カ負擔スルト云フコトニナツテ居ツテ果實ノコトハ何トモ言ツ

テナケレハ危險ヲ負擔スヘキ者カ矢張り是ハ取得スヘキモノデア
ルト云フコトハ論理トシテハ起ラヌモノデアアル只今長谷川君ハ既
ニ議決ニナリマシタ三百九十八條ヲ引カレマシタガ此ケ條カアリ
マシテモ五百三十二條ト合セテ見タ所テ賣買ノ場合ニハ買主カ取
得スルト云フコトニハナラヌト思フ例ヘハ引渡前ニ牛カ子チ生ン
ダサウシテ引渡スヘキ時期カ來タナラハ子ハ其儘ニシテ親牛ダケ
現状ノ儘テ引渡スト云フコトニナラウト思フ本來ハ所有權移轉ト
云フコトハ意思ノ解釋トシテ價イテ單一ノ標準ニシテ危險ノ問題
モ果實ノ問題モ所有權ノ所在ニ依テ決スルト云フガ普通ノ場合ニ
於テハ便利ト思ヒマスガ其標準ハ取ラレテ居ラヌカラ仕方カナイ
五百三十二條ノ所有權移轉ノ問題ハ結局物ヲ取得スベキ債權者ト
云フコトニナツテ居リマスカラサウスレハ果實取得ノ方モ何カ書
カナイト疑ヒカ起ルソレテ遺憾ナコトデアリマスガ五百七十六條

ノ一項ハ私ノ懸念ニシテ五百三十二條ト約合セテ價キタイト思ヒ
マス

高木豊三君 土方君ノ議論ハ一應承ハルニ誠ニ御尤モノヤウデアリ
マスガ私モ時宜ニ依テハ贊成シマスガ少シ私ノ主義ト異ナツテ居
リマスカラ起草者ニ御質問ヲ兼ネテ伺ヒタイ長谷川君並ニ土方君
ノ議論テハ既成法典ノ三百三十五條ノ主義ヲ矢張り此五百三十二
條ニ拵ヘタモノデアアル賣買ノ場合テ言ヘハ賣主ハ契約ヲシテ引渡
シテ仕舞ツテモ利益ハ得ラレルト云フ斯ウ云フ主義デアアル其利益
ト云フ中ニ矢張り果實モ籠ノテノ御議論ノヤウデアリマスガ私ノ
解シテ居ル所テハ三百三十五條ノ物ノ増加ト書イテアルノハ果實
迄モ含ンテ言フノテナク不動産例ヘハ地面ナトニ付テ殖ヘタモノ
チ重モニ假定シテ居ルノデアアルソレカラシテ此條ヲ假定シテ五百
三十二條ニ於キマシテモ其減失又ハ毀損ハ債權者ノ負擔ニ歸スト

云フコトタケ書イテアツテ反對ノコトハ出テ居ラヌ併シ此反對ノ結果トシテ其果實ト云フモノハ買主ニ屬スルト云フ論結カ出來ルト思フ併シ此利息ト云フモノガ既成法典ノ三百三十五條若クハ五百三十二條ニ依テ買主ノ方ニ得ラレルト云フコトハ極マツテ居ラヌト思フソレハ例セ極マツテ居ラヌト云フト例ヘハ牛ノ子カ出來タ成程物カ殖ヘタト云ヘバ言ヘルカモ知レマセヌガ併シ之ヲ預ツテ居ル間ハ養ツテ置カナケレハナラヌカラ其子ヲ取ルナラハ養ナヒ料ヲ負擔シナケレハナラヌ又不動産ヲ言ツテモ私カ借家チ一棟持ツテ居ル今貸シテ居ルカラ引渡ハ出來ヌ六ヶ月経ツテ引渡スソレテモ宜イト云ツテ契約スレハ六ヶ月ノ家賃ハ買主カ取ルヘキモノカ買主カ取ルヘキモノカ若シ買主カ取ルナラハ其修繕ノ義務保存ノ義務ハ矢張り買主カ負擔シナケレハナラヌ此既成法典ノ三百三十五條又本案ノ五百三十二條ヲ增加ハ無論ノコト果實ノ問題迄

是ヲ極マツタモノテアル矢張り元ノ原則ヲ貫ヌイテ往カナケレハナラヌト云フコトトウ云フコトテアル成ル程今日ノ問題ニナツテ居ルコトハ是カ悪ルイカ善イカト云フコトハ第二ノ議論ニシテ今ノ危険ノ場合ハ如何ナモノテアルカト云フコトチ土方君ニ伺ヒタイソレカラ起草者ノ方ニハ私カ誤解シテ居ルノテアリマセウドウテアリマセウカ若シ誤解ナラハ御説明ヲ願ヒマス

梅田次郎君

誤解デ

ハアリマセヌ矢張りサウ云フコトカアル今ノ危

険問題ノトキニ色々御論カ出テソレカラ長谷川君ノ御話シハアツタ議論半ハニ此方カラ撤回シタカラ精シイコトハ分ラナカツタガ土方君カラハ明ニ御議論カ出タガ賛成カナクテ十分ニ議題トハナリマセヌテシタガ其時ニ私ハ表向キテハアリマセヌガ先刻土方君ニ對シテ御答ヘシタ丈ケノコトチ申シタノテ夫レハ私共ノ考ヘマシタ所テハ五百三十二條ニハ不可抗力ニ依テ債務ノ目的カ不能ニ

ナツタ場合ヲ規定シテアルソレテアリマスカラソレノ理由トカソ
 レト 連シタ問題テアルトカ言ツテ物ノ増加ハ債權者ノ利益ニ屬
 スルト審クノハ權カテナカラウト云フノテ審カナカツタノテアリ
 マス乍併元來ハ此規則カ行ハレル以上ハ普通ノ増加ニ付テハ無論
 危險ノ屬スル方ニ移ツテ往カナケレハナラヌト云フコトハ疑ヒナ
 イガソレハ先刻長谷川君ガ言ハレヌ如ク總則ノ三百九十八條ノ規
 定テ十分テアラウ只果實ニ至ツテハアノ條ニ遁入ラヌト思フ其方
 カ正シイト思ヒマシタカソレニ付テハ今高木君ノ言ハレタ様ナ特
 別ノ理由モアリマスシソレカラ代金ノ利息ト云フモノモアツテソ
 レト餘程 連シタコトテアリマスカラ賣買ノ規則チイツレ規定ス
 ルカラ其時迄待ツテ下サイト云フコト土方サント私カ申シタノテ
 アリマス當時ハドチラニ極マルト云フコトハ確カト極マツテ居リ
 マセヌ兼テ私共ノ考ヘテハ理論ハ果實ノアルトキニ與ヘルト云フ

方カ宜イト思ヒマシタガ併シソレハ實際不便テアラウト云フコト
 チ兼テ考ヘテ居リマシタカラ五百三十二條ノ極マルトキハ我々ノ
 間ニ於テモドチラト極ノテハナカツタ扱テ愈々賣買ノ所ニ來テ此
 五百七十六條チ起草スルニ當ツテ遂ニ便利ノ方カラ危險トハ伴ハ
 ナイト云フ主義チ取ツタノテアリマスカラ此點ニ付テハ今高木君
 ノ御述ヘニナツタコトハ決シテ反對テハナイ

土方 寧君 高木君ノ只今ノ御説ハ能ク分ツタノテアリマスガ成程
 能ク考ヘテ見マスト賣買ノ場合ニ付テ言ヒマスナラハ目的物チ買
 主ニ引渡ス前ニ利益チ生シタ其利益ト云フノハ色々ノコトガアリ
 マセウ或ハ契約チ結ンテカラ現ニ引渡ス迄ニ幾ラカ期限カアツタ
 ナラハ梅君カ言ハレル如ク家ナラハ往ツテ居ル利益カアラウカソ
 レチ保存スルニハ費用カ掛カルコトモアリマセウカラ一定ノ利益
 チ得ルト云フコトニ付テハ多少ノ出費カアルト云フコトニ付テ考

ヘテ見マスト或ハ代金ニ付テノ利息ト相殺スルト云フコトハ便利ト思ヒマスガ併シ場合ハ少ナイカモ知レマセヌガ牛ノ場合ハ子カ生マレルト代金ノ利息ト相殺スルト云フノハ大變不權衡ト思フサウ云フ場合ハドテラガ少ナイカ知リマセヌガアリ得ル場合テアリマスサウ云フ價額ノ多イ果實ト利益ト云フモノト相殺スルト云フノハ權衡ヲ失ヒテ居ル率口五百三十二條ト權衡ヲ取ル方カ宜イト思フ高木君ノ御考ヘモ長谷川君ノ御考ヘモ分カツタノテアリマスガ殘念ナカラ私ノ説ニハ贊成カナイカモ知レマセヌガ通ラナクテモ主張シテ見マス

磯部四郎君 甚タ遅ク出テ恐レ入りマスカー一寸質問シタイ本條第一項ノ「末タ引渡ササル賣買ノ目的物カ果實ヲ生シタルトキハ」云々トアリマスガ法律ノ表テテ分ツテ居リマスガ一體是ハドウ云フ原則カラ出タモノテアリマセウカ私ノ考ヘテハ果實ヲ生シタル場

合ハ品物ノ所有者ニ屬スト云フノガ當リ前ノ話シタラウト思ヒマス引渡前テアラウガ先程カラノ御辨明ノ所ヲ關タト代價ヲ拂ハヌテ利息ト相殺スルト云フコトカゴザイマシタ詰リ引渡前テアツテモ其品物ノ所有權ト云フモノハ生スル親牛カ買主ノ所有ニ屬シテ居レハ子牛モ其買主ノ所有ニ屬シテ居ルノガ當然デアルノニ果實タケガ賣主ニ屬スルト云フ規則ノ出テ來ルニハ法律上何カ相當ノ理由カナクテハナラヌト思ヒマス其理由カ私ニハ分リマセヌ或ハ代價ノ利息ヲ拂ハヌカラ利息ト果實ト差引クト云フト動モスレハ子ノ生スルノテ目的トシテ賣買スルコトカアルガソレカ出來ナイコトニナル能ク分リマセヌカラ今一應伺ヒタイ

梅藤次郎君 丁度其事ハ初ノニ申シマシタ簡單ニ申シマスレハ斯ウ云フコトニナリマス實ハ何トモ明文カナケレハ果實カ所有者ニ歸スルト云フコトハ申ス迄テモナイソレカラ危險問題ト平仄ヲ合セ

ヤウトスレハ先刻土方君長谷川君ノ御説ノ出タ如ク果實ハ買主ノ
 所有ニ屬スト云フコトニスルト買主ノ方カラ代金ノ利息ヲ附ケサ
 セヌト云フト不公平テアル何セカト云フト果實ハ賣買ノ日カラ借
 取ツテ仕舞ツテ代金ヲ拂ハヌサウシテ代金ヲ拂フ迄ソレヲ利用シ
 テ居ツテ自分ノ利益ニスルト云フコトニナツテハ不公平テアラウ
 ト云フノカーツトソレカラ今一ツハ賣主カマダ引渡サヌ前ハマダ
 保存ノ義務ガアル其果實ヲ生スル前ニ費用ヲ掛ケナケレハナラヌ
 其果實ヲ買主カ取ルト云フナラハ買主ノ方カラ其費用ヲ償ナハナ
 ケレハナラヌ賣主ハ金ハ掛ケルガ小修繕ノ費用ハ取レヌト云フコ
 トデハイカヌカラ買主ニ償ハセルコトニナルサウスルト大變精算
 カ面倒ニナツテ仕舞ウ詰ル所利息ト云フモノヲ比ベレハ果實ノ高
 ト大同小異テアルカラ相殺シタ方ガ便利タラウト思フ便利主義テ
 來テ居ルノテ理窟ニ叶ツテ居ルトハ思ハヌ尤モ賣主ノ方ヲ引渡テ

怠ツテ不履行ヲシタ其不履行ヨリ生スル損害ヲ買主カ蒙ムツタト
 キハ損害賠償トシテ償ハナケレハナラヌト云フコトニ多分ナラウ
 ト思ヒマスカラ如何ナル場合テモ不公平ノ結果ハ起ルマイト思フ
 殆ト便利主義ヲ設ケタノテアリマス

磯部四郎君 今貴君ノ言ハレタニハ買主カ代價ヲ拂ハヌカラ其品物
 カラ生スル果實ハ賣主ニ與ヘル方カ宜イト云フ斯ウ云フ御論カラ
 言フト此果實ヲ生シナイ物ノ賣買ニ付テハイツモ賣主ト云フ者ハ
 品物ヲ使用シテ居ルサウスルト今ノ第一ノ理由ハ果實ノ生シナイ
 物ノ賣買ニ付テハ一寸當テ嵌ラヌ議論ニナツテ仕舞ウ、、、

梅藤次郎君 矢張り當嵌マル積リテアル

磯部四郎君 詰リ果實ノ生スルモノテアルト費用ト夫レカラ果實ト
 云フモノトニツ利益ヲ賣主ガ占ノル果實ノ生シナイ品物ニナルト
 費用タケテ代金ノ利息ト云フモノト相殺ナスルト云フコトニナツ

テ仕舞ウソレカラ今一ツノ理由ハ果實カ生ズレハ果實カ生スルニ付テノ費用ト云フモノガ掛ル是モ精算カ面倒テアルト云フコトテアリマスガ併シ乍ラ保存費ト云フモノニ付キマシテハ場合ニ依テハ保存費用ノ問題ハドウシテモ免カレヌト想像スル私共ノ考ヘテハ費用ト利息ト相殺チスル勘定ニナツテクルコトニスルト果實ノ生スルト云フノハ不意ノコトカ生スルノデアルカラ是ハ買主ニ與ヘヌテモ強テ相殺ト云フ理窟カ立タヌコトモナイト思ヒマスガ如何ナモノテアリマセウ

梅田次郎君 第一ノ質問ハ先刻矢張り質問カ出マシテ私カラ答ヘタノテアリマス果實ト費用ト同時ニ出ルコトハ極ハメテ少ナイ例ヘハ本テアリマスト梅ノ木ハ花チ見テ實カナル程ハ花チ見テ木チ賣ルト云フコトカ多イ又田畑ノ如キハ多クハ使用ノ方カラ見ナイテ果實ノ方カラ見ル田ノ中ニ運入ツテ草チ取ルト云フノハ果實カ目

的テアル家ナトテアルト人ニ貸セハ借賃ト云フ果實チ生スル土地テモ人ニ貸シテ置ケハ借賃ト云フモノガ取レル大概サウ云フコトテアリマスカラ果實カ賣主ニ屬スルト云フコトハ果實カ生スレハ既ニ茲ニ誰レノ物カト云フコトヲ規定スル必要カアルカラ已ムヲ得ス茲ニ果實ト云フコトヲ書イタ外ノモノハ賣主カ利益チ受ケル家チ自分テ使用シタ時分ニハ果實ト云フモノハ取レナイソレテアルカラ其場合ニハ只タ代金チ受取ツテ宜シイ之チ人ニ貸シテ置クト家賃ト云フモノガ取レル其家賃ト云フモノハ買主ニヤラナケレハナラヌト云フコトニナルト大變不權衡ニナラウト思フソレテアリマスカラ其區別ハトウモ出來ヌト思ヒマスカラ果實チ生スルト否トニ拘ハラス果實ト果實ニ對スル利息トヲ相殺スルコトニシテ宜カラウト思フ今ノ家ノ如キ著シルシキモノニ付テハ果實ト見テ居ルノハ既成法典モ同シテアリマスガ外ノモノニ付テハ無形ノ利

益テアルカ有形ノ利益デアルカ賣主カ引渡シテ置カヌト其間ニ無
形ノ利益ヲ得ルト云フコトカ最も多イカラソレト相殺スル第二ノ
御間ハ保存費ヲ、、、、、假令ヒ果實ノ負擔タルヘキ保存費
ヲ果實ト相殺スルト云フコトニナツテモ尙ホ保存費ヲ計算スルコ
トハ免カレヌ外ノ保存費モ計算シナケレハナラヌト云フコトテア
リマシタカ何セカト云フト賣主ハ保存ノ責ヲ持ツテ居ル普通ノ保
存ノ費用ハ自分カ出サナケレハナラヌ買主ニ保存費ヲ出サセルコ
トハ出來ヌソレテアリマスカラ其保存費ハドレダケ掛ツテモ仕方
カナイガ其保存費用ヲ賣主ガ負擔スル代リニ果實ヲ與ヘナイト或
ハ不公平ノ結果ヲ生シヤウト云フノガソレガ第二ノ理由テアリマ
ス

横田國臣君 私ハ此第一項ニ持ツテ往ツテ但書ヲ加ヘテ代金ノ支拂
ヒヲ爲シタル後ニ生シタル果實ハ買主ニ屬スルト云フコトニシテ

置キタイサウ致シテ置キマシタ所カ又起草者ニ相談シテ見タ所カ
起草者ノ言ハレルニハソレハ最早其場合ハイツレ代金ヲ拂ツタ以
上ト云フモノハ必ス引渡ヲ請求スルテアラウ請求シタ折リニハソ
レカラシテ引渡サナケレハ損害賠償テ其果實ヲ與ヘルト云フケレ
トモガソレカトウモ私ハ甚タ曖昧ナルガ請求スレハサウナルト云
フコトハ何ンテアルカ請求セヌ前ニハ取レヌソレハ取りタイト思
ヘハ請求スルノテアリマスガソレハソレナラソレテ宜イカサウス
ルナラハ此二項ト云フモノハ私ハ要ラヌコトテアルト思フ最早引
渡シタ以上ハ必ス代金ヲ拂ヘト云フコトヲ請求スルテアラウ其請
求シタ時カラ其利息ヲ生スルコトニシタ方カ宜イ其時カラシテ遲
滞ノ責ニ任スルガ當リ前ニアル所ニ一項ヲ置クナラ第二項ヲ削ル
カドチラカニシタイト思フ丁度二項ヲ削ツタ方カ宜クハナイカ物
ヲ引渡シテ其代金カ一日後クレタカラト言ツテ一ヶ月分ノ利息

ヲ取ラレルヤウナコトニナルナラソレテ十分テアラウト思フ旁々私ハ此二項ノコトハ要ラヌト思フ私ハ起草者カ其主義テアルナラハ二項ハ削ル方カ宜イト思フソレテ二項ヲ削ルト云フ説ヲ出シマス

議長（西園寺侯） 最早議論カ盡キマシタカラ決定シテ次ニ移リマス

（書記朗讀）

第五百七十七條 賣買ノ目的ニ付キ權利ヲ主張スル者アリテ買主カ其買受ケタル權利ノ全部又ハ一部ヲ失フ虞アルトキハ買主ハ其危險ノ限度ニ應シ代金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得但賣主カ相當ノ擔保ヲ供スルトキハ此限ニ在ラス

（參照）取七七、佛一六五三、蘭一五五二、伊一五一〇、葡一五八四、グチー一一八五、西一五〇二、白草一六五四、

獨二草三八二、一項

梅禮次郎君 本條ハ取得編ノ七十七條ニ文字ノ修正ヲ加ヘタ迄テゴザイマス七十七條ノ第二項ニハ「此規定ハ買主カ買受物ノ他人ニ屬スルテ直接ニ證スルコトヲ得ルトキハ賣買無効ノ判決ヲ求メ及ヒ擔保ノ訴權ヲ行フコトヲ妨ケス」ト云フコトカアツテ草案ノ説明ナトヲ讀ンテ見マス佛蘭西民法ニハ是レノナイノハ缺點デアルト言ツテ之ヲ加ヘラレマシタガ私共ノ考ヘテハ是ハ言フヲ待タヌコトデアルカラ即チ佛蘭西法ノ如クカ宜イト思ヒマシテ削リマシタ一項ニハ只文字ノ修正ヲ加ヘマシタ今外國ノ例ヲ見マスト和蘭伊太利グチー西班牙白耳義民法草案ナトハ皆本條ノ通りニナツテ居ルノデアリマス佛蘭西ハ勿論ノコトデアリマス葡萄牙ハ只供託タケテ許シテアル此場合ニ供託ヲスルト云フコトデアルケレトモ其供託ノコトハ後ニ既成法典ニ倣ツテ是ハ賣主ノ權利トシマシ

タカラ買主ノ權利トシテ茲ニ規定スル必要カナイ獨乙民法草案ノ如キハ双務契約ノ規定ヲ只適用スルタケノコトニナツテ居リマシタノテ或ハ夫レテモ宜イカト思ヒマシタカ能ク考ヘテ見マストソレテハ少シ足ラナイ何セ足ラナイカト云フト双務契約ノ通則テハ履行ノ提供アル迄ハ相手方ニ於テ其履行ヲ拒ムコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマス獨乙民法草案ナトハ其點ハ少シ違ツテ居リマスガ兎ニ角此案テハ今ノ通則タケテハイカナイ何セイカナイカト言ヘハ既ニ引渡ヲ終ツタ後ニ茲ニ關フ妨礙カ生シテ成程所有權カ賣主ニナイト云フコトカモウ明カニナツタナラハモウ不履行ト云フカ知レマセヌガドウモ履行ノ提供ト云フヤウナコトハ引渡ナトニ付テハ言ヘマスガドウモ今ノヤウナ場合ニ適用スルニハ少シ大カシカラウト思フ就中返還カアツテモ斯ウ云フ權利カアルカナイカ分明ナラヌノニ履行ノ提供カナイト云フノハ餘程ひねくツタ

解釋ト思ヒマシタカラ矢張り此ケ條ヲ置イタ方カ宜カラウト思ツテ其點ハ矢張り既成法典ノ主義ニ依テ置キマシタ
議長（西園寺侯） 別段御發議カナクハ決定致シマシテ次ニ移リマス

（書記朗讀）

第五百七十八條 買受ケタル不動産ニ付キ先取特權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ買主ハ該除ノ手續ヲ終ハルマテ其代金ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得但賣主ハ買主ニ對シテ直チニ該除ヲ爲スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

（參照）取七八、佛一六五三、蘭一五五二、伊一五一〇、葡一五八四、ヴオー一一八五、西一五〇二白草一六五四

梅藤次郎君 本條ハ取得編ノ七十八條ト粗々同一ノ趣意テアリマス第七十八條ニハ但法律上ノ期間ニ於テ該除ヲ行フコトヲ要スレト

アリマシタガ今擔保編ヲ見マスト擔保編ノ二百六十條ニハ「何時
 ニテモ該除スルコトヲ得」トアツテ一向ニ法律上ノ期間ガ定メテ
 ナイ左モ債權者カラ催告ヲ受ケマシタ時ニハ一ヶ月内ニ該除ヲ行
 ハナケレハナラヌト云フコトカアリマスガ是ハ應々法律上ノ期間
 ニ於テ該除ヲ行ハナケレハナラヌト云フコトテナクモ凡ソ該除ハ
 ドウ斯ウト云フコトカ擔保編テ極マツテ居ル以上ハ但書ニ付テ生
 レタトハ思ハナイ草案ノ説明ヲ讀ンテ未見マスト實ハ初ノ方ノ
 法律上ノ期間デモ置カレルテアラウト思フテ斯ウ云フ風ニ書カレ
 タヤウニ思ヒマス所カ後ノ該除ノ所ニ該除ノ期間ヲ置カナクナツ
 タソレタカラ此但書ハ書カナクモ宜イヤウナモノテアルガ併シ賣
 主ト云フモノハ矢張り債權者テアルソレテアルカラ先取特權ヲ以
 テ居ルソレテ或ル先取特權ヲ存スル債權者ト云フ資格ヲ以テ自分
 カ該除ヲ催告スルコトカ出來ルソレテアルカラ其催告ヲ爲シタト

キハ法律上ノ期間テ該除ヲ爲サナケレハナラヌカラ是テ宜カラウ
 ト云フコトテアツタケレトモソレニシテモ矢張り登錄ハ要ルコト
 ニナルシ殊ニ又能ク考ヘテ見マスト賣主ハ自分ノ負債ノ爲メニ
 他人ノ負債ノ爲メトモ同シテアリマスガ不動産ニ抵當
 權又ハ先取特權ヲ附シテ置ク丁度恰モサウ云フコトカアルカラ買
 主ノ方テ代價ヲ拂ハヌ免ニ角抵當權ノ消滅スル迄先取特權ノ消滅
 スル迄ハ代價ヲ拂ハヌト云フコトニ對シテ自分カ督促シテ若シ拂
 ハナケレハ督促スルニハ辨濟ヲ爲スカ代價ヲ拂ウカト云フノテ本
 案テハ其邊ノ主義カ少シ變ハリマシタガ詰リ本案テモ該除ヲ爲ス
 ヤ否ヤノ催告ニナル其催告ヲスルト云フコトガ賣主ノ身分トシテ
 ハ甚タ不相應ノコトテアラウサウ云フコトハ賣主ハ出來ヌ何セカ
 ト云フト若シサウスルト賣主ガ自身テ追奪ヲ行フヤウナコトニナ
 リマス自分ニ擔保ノ責カアリ乍ラ自分テ追奪ヲ行ウト云フコトハ

出来ヌト云フコトハ是迄度々申シタコトテサウスレハ此競ハ行ハ
 レヌモノテアリマス抵當權ヤ先取特權ノアル場合ニハ代金ヲ支拂
 ウ實ナシ未タ代金ヲ支拂ウ實ノナイ人ニ賣主カ催告スルコトハア
 リ得ナイコトテアリマスカラ何カ間違テアラウサウスレハ此七百
 七十八條ノ但書ハ要ラナイ、要ラナイト言ツテ打捨テ置イテ宜イ
 カト云フトサウハイカヌ買主ノ方カラ是ハ抵當權カアルカラ先取
 特權カアルカラト言ツテソレテ口實ニシテイツモ代價ヲ拂ハヌ
 除テ行ヘハ早ク落者カ附クカ除テモ行ハヌサウスレハ債權者ノ方
 テ除テ促カスコトハ出来ヌガ賣主トシテ早クソレテハ除テシ
 テ仕舞ツテ自分ノ債權ニ付テ言フノテナイ外ノ抵當權先取特權ニ
 付キ除テシテクレト云フコトヲ請求シテ言フコトカ出来ルトシ
 テ置イタ方カ理窟モ能ク立テ宜イト思フ精神ハ既成法典ト矢張り
 同シテアリマスガ其邊ヲ改ノマシタ

横田國臣君 少シ御質問シタイノハ是ハ何ンテスガ場合ニ付テ私
 ハ申スカ買主ト賣主ト相談シテ契約ト云フモノハ買主ハ抵當ヤラ
 何ヤラアルノニ只此田地ト云フモノヲ五百圓ヲ買ハフト云フ斯ウ
 云フコトテ其田地ニ付テ買フタノテ今ノ抵當權トカ何ントカ云フ
 モノハ賣主ノ方テ洗除スルト云フノテアリマセウカ買主ノ方テ洗
 除スルト云フ約束テ買フタノテアリマセウカソレニ付テ尙ホ御尋
 ネシタイ

梅藤次郎君 除ト云フモノハ抵當權ノ所テ既ニ極マリマシタ即チ
 買主ノ方カラ元來除スヘキモノニナツテ居リマシテ買主ノ方カ
 ラドウ云フ工合ニ往ツテ請求スルカト言ヒマスト幾ラニシテ不動
 產ヲ買ツタ是丈ケノモノヲ賣主ニ拂ウヘキモノテアルガ先取特權
 又ハ抵當權ヲ行使セラレサウシテ又拂ハナケレハナラヌヤウナコ
 トガ起ルトイカヌカラ貴殿ニ對シテ拂ハウト思フガ貴殿等ハ満足

スルヤト云フコトヲ買主ノ方カラスルソレデ債權者ノ方テソレ丈
 ケノ代金ヲ出スノナラハ満足シヤウト言ヘハ抵當權モ先取特權モ
 消ヘテ仕舞ウ併シソレテハ餘リ安イト言ヘハ今度ハ増價競賣チシ
 テ價ヲ増シテ競賣スル買主ノ提出シタ増額ヨリモ一割以上高ク賣
 ル若シ賣レナケレハ自分カ買ウソレテアリマスカラ賣主ノ方カラ
 差除チ爲スト云フコトハナイ又賣主ノ方カラ自分ノ債權者ニ向ツ
 テ自分カ今度不動産ヲ賣ツタカラ其代價ヲ満足スルカドウカ満足
 シナケレハ増價競賣ニシロト云フコトハ言ヘヌ是ハ抵當權ノ方テ
 極マツタ

横田國臣君 私ハマダ理窟カ分ラヌノテアリマスガ例ヘハ茲ニ一反
 ノ田地カアルソレチ買主カ言フニハ私ハ之チ五百圓テ買ハフ併シ
 乍ラ是ハ抵當ニ三百圓ニ遁入ツテ居ルサウスレハソレチ拂ツテ斷
 チ御前ニヤルト云フコトニナラウト思フサウシタ折リニ斯ウ云フ

場合ハ矢張り先取特權ト云フモノハ必ス登記シテアルカラ大概前
 ニ是レ々々ト云フコトカ定メテ突合シテ仕舞ウカラ賣買カ出來ル
 ト思フ

梅藤次郎君 只今仰セニナツタ價ハ一体五百圓デアルケレトモ三百
 圓ノ負債カアツテ抵當ニ遁入ツテ居ルカラ代金ハ二百圓シカ渡サ
 ヌト云フコトハ無論契約上デ出來ル其三百圓ハ直クニ債權者ニ拂
 ツテ仕舞ヘハ夫レテ済ムノテアリマスカラソレハ本條ノ適用ヲ受
 クヘキモノテナイ只今ノ場合ニ買主カ拂ヘヌテ向フカラ請求サレ
 ルノチ待ツテ居レバ問題ニハナル是ハ無論先取特權抵當權ノアル
 コトハ知ツテ居ル併シ乍ラ賣主ハ貧乏モ何モシテ居ラヌカラ拂ウ
 タラウ併シ金チヤツテハ不安心タカラ拂ハヌガ特ニ賣主ニ代ツテ
 拂ツテヤラウト云フ約束チシタ場合ニ賣主カラ請求シタ場合テア
 レハ兎ニ角先取特權又ハ抵當權ノ行使ノアル迄ハ買主ノ方テ拂ウ

ト云フコトカ言ヘナケレハナラヌ但シ實際ニ於テ横田サンノ仰シヤツタ例ノ如ク代價五百圓ヲ買ツタ者ニ對シテ三百圓シカ負債ノナイト云フヤウナ場合テアレハソレハ藤除チ行フ迄モナク金額ヲ辨濟シテ宜カラウト思フソレハ本條ノ適用カナイ其事ハ本條チ起草スル時分ニ十分考ヘタコトテアリマスカソナ問題ハ起ラヌカラ書クニ及ハヌト思ヒマシタ外ノ國ニモ規定カナイカラ只代價カ足ラヌ時タケニシテ置キマシタ

高木豐三君 質權ノ場合ハドウデスカ

梅藤次郎君 是ハ今我々ノ間テモ議論ノ最中テアリマスカラ我々三人チ代表シテ申スコトハ出來マセヌガ我ノ考ヘテハ前ノ代位ノ所テ此問題ハ出マシタアノ時ニハサウ極マツタノテアリマシタガ不動産質ニ付テハ本節ノ規定ノ外抵當權ニ關スル規定ヲ準用スト云フコトカアルノテソレテ抵當權ニ關スル規定トアルカラ抵當權ノ

章ノ規定ト云フコトテハ無論ナイソレテアルカラ抵當權ト書イテアルモノハ總テ不動産質ニ還入ラヌト思フテ實ハ不動産質ノ所ハモツト狭ク書イテアツタノチ廣クシタ其方カ便利ト思フテ代位ノ時ニモ御答ヘシタ物上保證ニ付テハ特ニ規定ヲ設ケマシタガ質權ニ付テハ別ニ入レナカツタ併シ抵當權ニ關スル規定ハ皆默ツテ居レハ還入ツテ居ル

笑作麟祥君 先取特權ハ、、、、

梅藤次郎君 效力ト確ニ言ヘルモノナラハ無論其積リテアル效力デアルカナイカト云フコトハ適用上疑ヒガ起リマスカラ已ムチ得ス先取特權ノ方ハ皆念ノ爲メニ書クコトニシタ

富井政章君 詰リ本條ノ規定ハ抵當權ニ關スル規定テアルカナイカト云フコトテアルト云フコトニ歸着スル

議長（西園寺侯） ソレデハ次ニ移リマス

(書記朗讀)

第五百七十九條 前二條ノ場合ニ於テ賣主ハ買主ニ對シテ代金ノ
供託ヲ請求スルコトヲ得

(參照)取七九

梅澤次郎君 是ハ取得權ノ第七十九條ニ聯カ訂正ヲ加ヘタモノデア
リマス七十九條ノ意味ハ大抵同シコトデアリマスガ第一ニ「賣主
ハ其先取特權及ヒ第三者ニ對スル解除ノ權利ヲ保存スル爲メノ公
示ヲ爲サザリシトキハ」ト斯ウ書クト大層意ツタ賣主ト云フヤウ
ニ見ヘル意ツタ賣主ハ供託ヲ請求スルコトヲ得ルト云フノハ例ン
ダカ文章上種カテナイ草案ヲ讀ヘテ見マスニ初メノ草案ニハ斯ウ
云フ風ニ書イテアリマシタガ其後改メテ此場合ニ於テハ登記ヲ爲
スコトヲ得ト云フコトニ書イテアル第二項ニ至ツテ丁度本文ノ如
ク廣ク賣主ニ對シテ買主ハ代金ヲ請求スルコトヲ得ト云フコトニ

シテ尙ホ其説明ヲ見マスト七十七條ハ本案ノ五百七十七條ノ場合
デアリマス七十七條ノ場合ニ保證人ヲ立テルコトハ出來ヌ場合ハ
矢張り本條ノ如キ規定ヲ立テルコトカ出來ルヤウナ位ヲ草案ノ本
文ノコトハ本文ノ如ク特ニ賣主カ怠リアルト云フコトテハナカツ
タヤウデアリマシタソレナラハ能ク分ルノテソシクナラハ本案ノ如
ク簡單ニ書イタ方カ宜シイソレカラ次ニソシクナラハ草案ノ新ラシ
イ草案ノ第一項ニアツタ賣主ハ登記ヲ爲スコトヲ得ルト云フヤウ
ナコトハ書イタ方カ宜イカト云フニ之ヲ書ク必要ガナイソレハ先
取特權ノ規定テ十分極マツテ居ルコトテソレテ又茲ニ攝クルノハ
聯カ蛇足ニ近イト思ヒマシタカラ攝ケマセヌテシタソレカラ七十
九條ニハ當事者双方ノ名ヲ以テ買主ヲシテ猶豫ナク代金ヲ供託セ
シムルコトヲ得但其代金ハ當事者双方ノ承諾又ハ裁判所ノ判決ニ
依リ且諸手續ノ終了後ニ非サレハ之ノ引取ルコトヲ得スルト云フ

ヤウナ但審カアツタリ致シマシタガ是ハ是迄モ例ノアルコトヲ總
 テ供託規則ニ讀ルト云フコトニ致シテ此處テハ省イテ置キマシタ
 美作麟祥君 一寸伺ヒマスガ既成法典ニアル「公示ヲ爲ササリシト
 キハ」ト云フコトヲ削ツタト云フ理由カマダ能ク分リマセヌ既成
 法典ニハ先取特權ヲ登記シテアレハ何處迄モ先取特權ヲ十分己レ
 ノ權利ヲ伸張シテ往クカラ別ニ代金ノ供託ヲ請求シマセヌテモ十
 分ニ賣主ノ權利ノ伸張カ出來少シモ損ヲスルコトハナイ之ニ反シ
 テ賣主ニ先取特權カアツテモソレヲツイ登記シテ賣カナカツタト
 キハ或ハ他ノ債權者ノ爲メニ取ラレテ仕舞ウト云フ恐レカアルカ
 ラ總テ賣主ニ矢張り先取特權ヲ保存スル一ツノ手段トシテ代金ノ
 供託ヲ請求スル權利カアルト云フヤウニ既成法典ハ「公示ヲ爲サ
 サリシトキハ」ト云フコトカ通入ツテ居ルト思ヒマシタガ然ルニ
 ソレヲ削ツテ仕舞ウト先取特權ノ登記カシテアツテモナクテモ價

令ヒアツテモソレニ拘ハラズ代金ノ供託ヲ請求スル權利カ別ニア
 ルヤウニ重複スルヤウニナル恐レハアリマスマイカドウ云フモノ
 テアリマセウカ少シ既成法典ノ趣意カ分リマセヌガ

梅藤次郎君 成程此七十九條ノ儘テハサウ云フコトニナリマシテ草
 案テモ初メノ草案テハ少ナクモ本文ハサウ云フコトニ讀ノル併シ
 ソレガドウモ不十分ト思ヒマシタ譯ハ此先取特權ト云フモノハソ
 レハ不動産ノ價ダケテ賣主カ十分ノ辨濟ヲ受クルコトカ出來ヌカ
 モ知レヌ賣ツタトキニハ高い不動産テアツテモ愈々競賣ニ附サウ
 ト云フトキハ下ツテ居ルカ知ラヌ競賣シテ高い費用ナト掛ケル
 ト残りガ五百圓カ六百圓ト云フコトニナルノハ珍ラシカラヌコト
 デアルソレデアルト先取特權ダケテハ十分テナイ金ハ到底出セヌ
 トキテアリマスカラソウスルト財產ヲ差押ヘナケレハナラヌカラ
 代金ノ供託ヲ請求シテ置テハ先取特權ハ行使シナクテモ目的ノ代

金ヲ取レハ先取特權ノ登記迄テシタヤウナ注意深キ賣主ハ尙ホ其上ニ代金ノ供託ヲ請求スルコトカ出來ルト都合カ宜イ先取特權ヲ登記シテ置キマシタ所カ賣主ノ方テ直クニ何モ利益ヲ受ケヌ畢竟代金ヲ受ケ取ラナケレハ何ニモナラヌカラ先取特權ヨリ都合ノ宜イ代金ノ供託ノ請求ヲスルト云フコトニシタノテアルサレハコソ
フ
ばあそな一と氏モ第二番ニ於テ本案ノ如ク改メタノテアラウト思

議長（西園寺侯） 別段御發議カナクハ次ニ移リマス

（書記朗讀）

第五百八十條 前六條ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セ
ス

（參照）取七四、一項、七五、一項、七六、商五四一、二項、佛一六五一、一六五二、二項、一六五三、澳一〇五一、

一〇六四、蘭一五五〇、一五五二、伊一五〇八乃至一五一〇、
葡一五七五、一五八三、二項、一五八四、瑞債務法二三〇、二
六五、二六六、一號、グチー一一八五、四一五〇〇、二項、一
五〇一、一號、一五〇二、白草一六九七、英千八百九十三年動
產賣買法二八、五五

梅田次郎君 本條ハ前ニ五百七十條ヲ議スルトキニ其前ノ方ノ箇條
ノ改正ニナリマシタ結果トシテ寧ロ五百七十條ヲ削ツテ「本款ノ
規定ハ契約又ハ慣習ニ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セヌ但第五
百六十五條第五百六十七條第三項及ヒ第五百七十三條ノ規定ハ此
限ニ在ラス」ト斯ウ致シタ方カ宜カラウト考ヘマス其ヤウニ案ヲ
改メルコトヲ前回御願ヒテ致シテ議場ノ許可ヲ得マシタ既成法典
ニハ佛蘭西和蘭澳太利伊太利葡萄牙モンテネグロ西班牙白耳義獨
乙英吉利ナドト同シヤウニ各場合ニ付キマシテ粗々是ト類似シタ

ル規定ヲ置イテ居リマス本案ニ於テハ各一般ニ規定シタ方ガ便利
タラウト思ヒマシタカラ一ト所ニ編ノマシテ廣イ規定ニ致シマシ
タ此處ニ引イテアル三ヶ條ハイツレモ期間ニ關係シマシテ請求期
間ニ關係シマス何セ請求期間ハ窮期ニ定メタト云フトソナニ長
ク放任シテ置イテハ公益上害カアラウト云フノテ斯ク窮期ニシタ
ノテアリマシタガソレテ契約ヲ以テ變ヘルトカ或ハ償習力違ウカ
ラト云フノテソレテ變ヘルト云フコトカ出來ルト云フコトニナツ
テハ法律ノ精神カ貫徹ナシナイカラソレテ其場合タケテ除キマシ
タ

箕作麟祥君 契約償習ト云フノハドウ云フコトデアリマスカ

梅田次郎君 初ノニハ廣ク別段ノ定ト書イテ置キマシタガフト心付
キマシタコトハ但書ノ場合ト雖モ若シ法律ニ反對ノ簡條カアレハ
無論宜イノテ法律ノ方ハ兎ニ角反對ノ明文カアレハ茲ニナントモ

首ツテナクテモ特別ノ規定ハ其方ニ嵌マルソレテ率口茲ニハ法律
ヲ除イタ方カ獲カテアラウト思フノテ此處ハ除キマシタ
議長(西園寺侯) 別段御發議カナクハ次ニ移リマス

(書記朗讀)

第三款 買戻

梅田次郎君 既成法典ニハ賣買ノ章ノ第三節ニ於テ賣買ノ解除及ヒ
銷除ト云フ表題カアツテ其第一款ニハ「義務ノ不履行ニ因ル解除
」第二款ニハ「受戻權能ノ行使」第三款ニハ「隠レタル瑕疵ニ因
ル賣買廢却訴權」斯ウ三ツノコトガ規定ニナツテ居リマス此内テ
第一款ノ義務ノ不履行ニ因ル解除ハ既ニ契約ノ總則ニ於テ契約ノ
解除ト云フ款カ出來マシテ其款ニ既ニ規定シ盡シテアルト思ヒマ
スカラ茲ニ再ヒ規定スル必要カナクナツタカラ第三款ノ隠レタル
瑕疵ニ因ル賣買廢却訴權ハ既ニ議決ニナリマシタ所ノ彼ノ擔保ノ

部分ニ入レマシタ此處テハ除カネハナラヌコトニナリマシタサウ
 シマスト殘ル處ハ只買戻タケテアリマスカラ廣ク賣買ノ解除トカ
 續除トカ云フコトハ止ノマシテ只買戻ト云フコトニ致シマシタ而
 シテ此買戻ト云フ名稱デアリマスガ既成法典テハ受戻權能ノ行使
 トゴザイマシタガ何セ買戻ニシタカト云フト是ハ深い意味テハア
 リマセヌガ日本ノ是迄ノ慣習テ買戻ト云フコトカ盛ニ行ハレテ居
 ツテ其實質ハ佛蘭西ノはんだめれト云フコトト同シテアルサウ
 スレハ何モ六カシイ文字ヲ用ヒル必要ハナイ從來ノ文字ヲ用ヒタ
 ノテアルソレカラ受戻ト云フノハ日本ノ言葉テハ買ノ受戻ト云フ
 コトハアルカ此場合ニハ受戻ト云フコトハ種カテナイ受戻テハ十
 分ニ分ラヌカラ買戻トシマシタ序ニ説明スルコトハ取得編ノ第八
 十七條此箇條ハ受戻ニ關スル規定デアリマシタガ是モ制リマシタ
 此箇條ニ書イテアル事柄ハ當然ノコトデアツテ明文ヲ置クノ必要

カナイト思ヒマシタ此類ノ規定ハ外テモ背除キマシタカラ其例ニ
 倣ツテ今度モ省キマスコトニシマシタ

土方 寧君 大變大キナ問題デアリマスカラ突然説ヲ出スヨリハ一
 應伺ヒタイト思ヒマスガ此第三款買戻ト云フコトニ付テハ只今取
 得編ノ一箇條ニ付テ省イタト云フコトトソレカラ解除續除ト云フ
 コトト種レタ瑕疵ニ付テノ規定ヲ除イテ受戻ト云フノヲ買戻トシ
 タト云フコトデアリマシタガ私ハ此受戻ト云フコトモ止ノテ仕舞
 ツテモ宜イト思ヒマスガ此必要カアルト云フコトヲ簡單ニ伺ヒタ
 イ

梅田次郎君 是ハ成程サウ云フ説モ隨分學者ノ間ニ説ノアルコトテ
 アリマスカラ豫メノ説明シテ置クコトカ宜カツタカ知レマセヌガ若
 シ此會ノ御方カ異議カナケレハ成ルヘク時ヲ豫約シタ方カ宜イト
 思ツテ黙ツテ居リマシタ此事ハ我々ノ間テモ協議シタコトデアリ

マス中々外國ニハ買戻ト云フコトニハ色々沿革カアツテ其沿革上
 カラ考ヘテ見レハ今日ノ不必要テナイカト思フガ併シ乍ラ其沿革
 上弊害ノアルコトハ西洋ノ國々ニハナイカ知レマセヌガ日本ニハ
 ドウカト言ヘハ無論買戻ノ弊害アルコトハ認メテ居リマスガ併シ
 之ヲ制ルト云フコトニナツタナラハドウナルカト言ヘハ私ノ考ヘ
 テハ只制レハ法文ニ規定シナイト云フコトテ自由ニ契約カ出來ル
 ト云フコトニナツテ仕舞ウ三十年ノ期限ヲ以テシテモ五十年ノ期
 限ヲ以テシテモ出來ルサウシテモ弊害サヘモ嫌ノルコトガ出來ヌ
 ソレテハ土方君ノ御精神ニモ背クト思フ若シ之ヲ禁スル必要カア
 ルナラハ禁シヤウト思ヒマシタガソレハドウモ權カテナイ多少ノ
 弊害アルニ拘ハラス實際ニ行ハレテソレガ變ラカ便利ト認メラレ
 テ居ルカラ之ヲ禁スルコトハ出來ヌ若シ禁スルコトカ出來ヌシテ
 之ヲ存スルナラハ而テ弊害ヲ嫌ノルコトカ出來ルナラハ成ルヘク

契約ノ自由ハ存シ置キタイ此買戻ト云フコトハ隨分一時金ニ困ツ
 タ者カ全策ノ爲メニ不動産ヲ賣ルトカ云フヤウナ場合ニ是ハ先祖
 傳來ノ土地テアルカラ丸テ賣放シタクナイト云フノテ買戻ノ約束
 ヲシテ置ク或ハ今ハ要ラヌ積リテアルガ後日ひよツミスルト入用
 カ生スルカモ知ラヌ其時ニ買主カ承知セヌトソレマデアルカラ
 念ノ爲メニ買戻ヲ附テ置クト云フ場合モアラウト思フ夫等ノ總テ
 ノ場合モ當事者ノ方テ考ヘテ見ルト買戻ト云フコトカ必要テアル
 今法律ヲ許シテアツテモ短カイ期限テアツタナラハ弊害ハナカラ
 ウ無論登記シナケレハ第三者ニ對シテ效ハナイカラ登記シテ五
 年ヨリ長クスルコトハ出來ヌト云フコトテアツタナラハサウ第三
 者ニ大シタ迷惑ヲ掛ケル氣使ヒハナイカラ當事者間ニ便利テアラ
 ウト思フソレテ寧ロ置ク方ニシタ外國ノ例ヲ調ヘテ見マシタガ外
 國ノ例ヲ禁スルト云フノハ瑞西聯邦中ノヴチート云フ所ニ一ツア

ルソレカラ葡萄牙ニハ從來ノハ其備存シテ置キマシテ只期限ヲ以テ制限スルガ新タニ買戻約東チスルコトヲ許サヌト云フコトガアリマス後トハ皆此處ニ引イテアルノニハ皆アル矢張り外國ニ於テモ其必要ノアルコトヲ認メテ居リマス就中伊太利民法杯ハ民法編纂ノ時ニ大變議論カアツテ土方君ト同シヤウナ議論ノ人モアツタヤウテアリマスガ迷ニ多數ハ置クヤウニナツテ伊太利民法ニハ買戻ノコトカ而モ本條ヨリモ精シク書イテアリマスソレカラ日本ノ慣習ハ至ツテ不案内テアリマスカラ例ニ依テ民事慣例類聚等チ見マシタガ到ル處此慣習カアルチ見ルサレハコソ實際ニ於テ買戻附約東チ見ルノハ維新後新タニ出來タ慣習チナク從來ヨリ存スル慣習チアラウト思ヒマシタカラ一朝ニシテ之チ發スル程ノ必要ハナイト思ヒマスカラ矢張り置クコトニ致シマシタ

土方 寧君 只今ノ御説明チ何ツテ見マシテモ矢張り之チ置カナク

テハナラヌト云フ考ヘチ生シマセヌカラ大變大キナコトヲ申出スヤウテアリマスガ此第三款以下七ヶ條ヲ總テ削除スルト云フ説チ提出シマス其譯ハ別ニ精シク申シマセヌガ只今梅君ハ日本ニ斯ウ云フ慣習カアルト云フコトテアリマス歐羅巴ノ新ラシイ規則ニ殊更ニ禁スルト云フモノカアリマセウガ英吉利ニハ買戻ト云フコトハアリマセヌガ買戻約款附賣買ト云フモノカアル併シ其意味ハ賣ト云フコトニ一定シテ居ル蓋シ買戻ト云フコトカ一種ノ債權融通ノ爲メニ抵當トカ質トカ云フ方法ニ用ヒタモノテアラウト思フ中ニハ今ハ不用ダガ他日ハ入用タト云ツテ賣ルモノモアラウガ多クハ金カ欲クテ融通ノ爲メテ詰リ抵當トカ質トカ云フコトカアツテ規則カ一般ニ行ハレルコトニナツタナラハ買戻ト云フヤウナ一種曖昧ノ賣買チ規定シテ置ク必要ハナイト思フソレナラ禁シナケレハナラヌヤウナコトテアリマスガ私ハサウハ思ハヌ若シ此第三款

チ省イテ居ツタナラバ茲ニ謂フ買戻ノ約束ハ出来マセウ當事者間
ニアツテハ有效テアリマセウ登記簿カドウナルカ知リマセヌガサ
ウ云フ約束チスルト云フコトカ出来ルコトニナルカ知ラヌ併シ私
ハ假令ヒ登記シテモ登記シテアルコトハ皆第三者ニ效力ノアルモ
ノト廣イコトニシタクナイソレデ實際金カ欲シクテ入用カアツタ
ナラハ抵當ニ入レテモ質ニ入レテモ自由テ其方カ宜カラウ今日登
記簿カ出来テ質ト云フコトカアリ抵當ト云フコトカアツテ金融ノ
爲ノニ處分シテ質ト云フ規定カ出来タ以上ハ是ハナクテ宜イト
思フ禁スルト云フノテハナクテモ除イタ丈ケテ宜カラウ大キナ問
題テ諸君ハドウカ知リマセヌガ試ミニサウ云フ説チ出シマス
高木豊三君 成程大キナ問題テアリマスガサウスルト英吉利ノ方ノ
コトハ能ク知リマセヌガ買戻契約ハ詰リ動産質ト同様テアルト云
フコトテ斯ウ云フ御趣意テアリマセウカ不動産質ハ申ス迄テモナ

ク占有チ移サナケレハナラヌソレハ必要テアル所カ買戻テアルト
私カ先祖傳來ノ地面チ賣ツテソレチ引渡シテモ又金チ出セハ其儘
買戻スコトカ出来ル所カ質ト云フコトニナルト實際出来ナクナツ
テ仕舞ウカラ沿革上日本テハ必要ト思フ

議長（西園寺侯） 暫時休憩シマス

午後六時三十五分休憩

果實ト代金ノ利息トハ之ヲ相殺シタルモノト看做ス」動産ニ付テハ買戻ノ特約ヲ爲スコトヲ得ス

- (参照)取八四、一項、五項、六項、商五二九、佛一六五八、一六五九、澳一〇六八、一〇七〇、蘭一五五五、伊一五一四、一五一五、葡一五八六、一五八七、グチー一七一七、グラウプユンデン四〇九、一項、二項、ツユーリヒ四五三乃至四五五、一五〇六、一五〇七、一五一九、一七〇六、一七〇九、一七一五、獨二草四三三、四三四、四三六、普國法一部一一章二九六乃至三〇二、索一一〇九、一一三一、一一三二、巴草二編三七七、一項、二項、三七八、一項、二項、三七九

梅謙次郎君 既成法典ニ於キマシテハ佛蘭西、和蘭、伊太利、グラウプユンデン「ツユーリヒ」、西班牙民法、白耳義民法、獨逸

民法草案、普蘭西、索遜、巴威爾ノ草案杯皆同シコトデアリマスガ買戻ノ規定ト云フモノハ動産ト不動産ト同時ニ規定シテアリマス本案ニ於テハ不動産ノミニ限りマシタ其點ハ澳太利ト同シデアリマス佛蘭西ニ於テハ前ニ申シマシタ通り別ニ動産トモ不動産トモ限ツテアリマセヌカラシテ無論双方ニ通スルノテゴザイマセウガ併シ其規定ヲ見ルト多クハ動産ノ場合ヲ想像シテ規定シタモノデアリマス又此條例ヲ申スト「グチー」ノ民法ノ如キハ不動産丈クニ付テ買戻ヲ禁シテアリマス恰度本案ト正反對ニナツテ居リマス此買戻ト云フモノハ先刻モ御論ノアツタ通り随分弊害ノ多イモノデアリマス其弊害ハ西洋テハ蓋數言フ方ノ弊害ハ却テ少ナイカモ知レヌ西洋テ能ク人ノ八蓋數ク言フ弊害ハ買戻ハ利息制限法ノ詐欺ノ方法テアル利息制限法ヲ濫クル爲メニ斯ウ云フ契約ヲスルト云フコトカアツテ夫レカ弊害ト云フノガ少ナクモ買戻ノ弊害ノ一

日本學術振興會
ツト爲ツテ居リマスガ本案テハ元來此利息制限法ハ設ケナイト云
フ主義ヲ是迄規定ニナツテ居リマスカラ其弊害ト云フモノハ弊害
テモ何ンテモナイ而シテ日本テハ何ニカ此買戻付ノ賣買杯ヲシナ
イテモ高イ利息ヲ金ヲ借りテ買物トシテ其不動産ヲ與ヘルト云フ
コトハ公然ト出來ルコトテアリマスカラ却テ其方カ宜シイ乍併吞
々ノ弊害ト名クル所ノモノハ此所有權カ眞ニ何處ニアルノカ分ラ
ナイ表向ハ買主カ所有者テアル、ケレトモ何時賣主カ買戻ヲシテ
其所有者ニ爲ルカモ知レヌ而シテ其効力カ既往ニ遡ルト云フコト
ニ爲ルト今迄買主カ所有者ナリト思フテ居ツタノガ詰リ所有者テ
無カツタト云フコトニ實際チ言フト爲ル然ウ云フ不確定ナル權利
ノ有様ト云フモノハ動モスレハ第三者チ害スルノ恐レカアリマス
且其ヤウナル場合ニ於テハ物ノ改良ト云フモノハ兎ニ角出來ニク
イコトテアリマスカラ宜敷ナイモノト云フ所カラ買戻ノ弊害カ多

イト云フノテアリマス夫故ニ区分禁スルト云フ理由ハナイコトハ
ナイ先刻土方君ノ言ハレタ通り、ケレトモ先刻モ申シマシタ通り
日本ニハ慣習ノアルコトテアリマスカラ不動産ニ付テハ何ウモ今
廢スルト云フコトハ出來マイ乍去動産ニ付テハ何ウテアラウカ此
方ハ何ウモ別段然ウ云フ慣習ノ行ハレテ居ルト云フコトモ聞カス
又動産ニ付テ効力カ既往ニ遡ルト致シタ所カ詰リ占有テ直クニ權
利カ移ルヤウナモノテアリマスカラ當事者カ夫レニ依テ便利チ得
ルト云フヤウナコトモ少ナカラウシ又既往ニ遡ルト云フコトテナ
ク一旦賣ツタモノチ同シ賣主カ今度買戻スト云フ丈ケノコトテア
ルナラハ本款ノ規定以外ノ事テアリマスカラ夫レハ固ヨリ自由ニ
出來ルノテアルカラ寧ロ此動産ノ方ハ必要カナイナラハ禁シテ假
ク方カ宜カラウト云フ斯ウ云フコトニ致シマシタ尤モ此効力カ既
往ニ遡ル遡ラヌト云フコトハ後ニ規定カアリマスガ序テニ一言申

シマスルガ獨逸法ハ大概皆效力カ既往ニ溯ラヌト云フコトニナツ
 テ居リマス夫レテアリマスカラ獨逸法テハ最モ廣ク許シテアリマ
 ス動産不動産ニ付テ許シテアルノミナラズ其年限ノ如キモ隨分長
 イデス不動産ハ獨逸民法草案ハ三十年抔ト言ツテアリマス其上ニ
 夫レハ時効テアルカ尙ホ特ニ時ヲ定メレハ幾ラテモ長ク定メラル
 ルヤウニ見ヘマス既往ニ溯ラヌト云フコトテアレハ或ハ夫レテモ
 宜イカモ知レマセヌガ若シ此買戻力既往ニ溯ラヌト云フコトテア
 レハ或ハ別段私ハ規定チシナイテ宜シイト思ヒマス然ウシテ今日
 日本ニ行ハレテ居ル買戻ト云フモノハ其效力カ既往ニ溯ルニアラ
 サレハ當事者ノ目的ヲ達スルコトハ到底出來マセヌ奧太利民法ノ
 如キハ恰モ效力ト云フモノガ第三者ニ對シテ生スルノテアリマス
 カラ夫レテ不動産ノミニ限ツテ居ルノテハナイカト思ヒマス今商
 法ノ規定ヲ見ルト商法ニハ此不法ナル場合ニ限ツテハ買戻力無効

テアルト云フコトカアリマスガ是レハ言フテ俟タヌコトテアラウ
 ト思ヒマス其上ニ商法ノ規定ハ五百二十九條ニ「賣主カ買戻ヲ約
 定スル賣買契約ハ差額取引又ハ違法ノ高利取引其他ノ不法ノ取引
 ヲ目的トシテ之ヲ取結ヒタルトキハ無効トス」トアリマス此違法
 ノ高利取引」之ハ利息制限法ノアルト云フコトヲ見込デ斯ウ云
 フコトヲ書イタノテアリマス夫レカラ「差額取引」ト云フノハ普
 通ノ言葉ヲ言フ空相場、「其他ノ不法ノ取引ヲ目的トシテ之ヲ取
 結ヒタルトキハ無効トス」斯ウ云フコトニ爲ツテ居リマス不法ノ
 トキニハ無効テアルト云フコトハ言ハヌテモ宜シイト思ツテ書キ
 マセヌテシタガ夫レヨリモ寧ロ動産ニ付テハ丸テ禁シタ方カ宜シ
 イト思ツテ動産ノ方ハ丸テ禁スルコトニ致シマシタ次ニ此第一項
 ノ但書之ハ既成法典ニハ無イ既成法典ニハナイケレトモ其立法者
 ノ意思カラ考ヘテ見レハ無論此通りテアラウト思ハレマス既成法

典テハ此事ハ言ハヌテモ斯ウ云フコトニナルテアラウト思ヒマス
 ガ今ハ言ハナイ譯テ往カス其譯ハ既ニ議定ニ爲ツタ所ノ第五百四
 十三條ニ依レハ解除ニ爲ツタ場合ニハ一方カラハ其果實ヲ返ヘサ
 ナケレハナラヌ他ノ一方カラ代金ノ利息ヲ返ヘサナケレハナラヌ
 ト云フコトニ爲ツテ居リマスカラ然ウスルト此規定カナケレハ甚
 タ煩ハシクテモ例ンテモ仕方ハナイ果實ハ皆取ツテ置イテ賣主ニ
 遣ラナケレハナラヌ代金ノ利息ハ初ノカラ皆ナ拂ハナケレハナラ
 ヌコトニ爲ルノテアリマスカラ夫レラハ當事者ノ意思ニモ違ヒ實
 際頗ル不便利テアリマスカラ此點ハ普瀾西ノ民法ニモ恰度之ト同
 シ規定カアツテ果實ハ利息ト相殺スルト云フコトニ書テアリマス
 西班牙民法ノ如キモ原則ハ同様テアル唯タ奇妙ナ區別カアリマス
 ケレトモ夫レハ何ウモ私共餘リ面白クナイ區別ト思ヒマスカラ別
 段説明モ致シマセヌガ左様ナ譯合テ第一項ニ此但書ヲ書キマシタ

次ニ取得編ノ八十四條五項ニ「賣買後ニ於テ爲シ又ハ別證書ヲ以
 テ爲シタル受戻ノ要約ニ付テモ亦同シ」トアリマス「亦同シ」ト
 云フト如何ナル事カト云ヘハ「再賣買ノ豫約ト看做スコトヲ得」
 ト云フコトテアリマス之ハ別段言フ必要ハナイカラウト思ヒマス
 既ニ買戻ノ特約ト云フモノハ賣買契約ト同時ニ登記チシナケレハ
 ナラヌト云フコトガ本文ニ言ツテアル以上ハ賣買後ニ爲シ又ハ別
 證書、證書ハ別テモ一緒ニ登記チスレハ宜シイガ若シ別ニ登記チ
 スルト云フコトデアレハ夫レハ買戻ニハ爲ラナイ買戻ハ例ニカナ
 ラハ再賣買ノ約束ニ相違アリマセヌ乍併夫レハ豫約テアルカナ
 カ夫レハ場合ニ依テ違ウ多クノ場合ハ成程豫約テゴザイマセウ乍
 併賣買ノ豫約テアルカ夫レトモ唯賣ル方丈ケノ豫約丈ケテアルカ
 夫レハ賣ル方丈ケノ豫約デゴザイマセウ然ウシテ見レハ之ハ言ハ
 ヌテ宜シイ夫レテ之ハ判リマシタ終リノ六項テアリマス「賣主ハ

代金ノ半額以上ノ辨濟ノ爲メ期限ヲ與ヘ且其期限カ受戻ノ爲メ定
 ノタル期間ノ半以上ニ及ヘルトキハ有效ニ受戻ノ權能ヲ要約スル
 コトヲ得スレ之ハ外ニ例ノナイ面白イ規定デアリマス、ケレトモ
 考ヘテ見ルト一向必要ノナイ規定デアラウト思ヒマス何セカト云
 フト一体此既成法典ノ受戻權能ノ規定ノ精神ヲ見ルト之ハ金ノ急
 ニ入用カアル場合ヲナケレハ必要ノナイモノ斯ウ豫定シテ總テ規
 定カ出來テ居ルヤウテ外ニハ例ノナイ斯ナ規定カ出來タノデア
 リマセウガ私共ノ考ヘテハ成程然ウ云フ事ハ隨分多カラウガ必ス
 然ウトハ限ルマイ先刻御質問ニ對シテ御答ヘテシタ通りニ隨分金
 カ要ルカラト云フノテナクテモ一旦賣ル、賣ルト決心シタ物ニ復
 タ何ニカ必要ノ起ルコトカアリハシナイカ又此不動産カ要ルコト
 カアリハシナイカト云フ懸念カラ何年間ニ同一ノ價ヲ出シタナラ
 ハ戻シテ呉レ或ハ自分ノ心ニハ斯ウ云フ事カアルト見テ居ル夫レ

チ明カニ言ハヌテモ事柄ニ依テハ明ニ言フコトヲ憚ルコトモアル
 自分カ何ニカ外ニ役ヲ轉ンスルト云フヤウナ事モアル田舎杯ニ知
 事チシテ居ル人カ長ク田舎ニ居ルノカ嫌ヤタカラ甘ク出來タラ東
 京ニ出テ見タイト云フヤウナ考ヘカアル然ウ云フ考ヘカアルガ然
 シ其時ニ爲ツテ果シテ其通りニ爲ルカ何ウカ分ラヌカラ家杯ハ賣
 ツテ仕舞ウ然ウ云フコトガアリ得ル然ウ云フ時ニ買戻ノ特約ヲ爲
 スノデアリマスカラ必スシモ金ノ急ニ入用ノ場合ノミニ限ラヌト
 思ヒマス又假リニ金ノ急ニ入用カアツタトシテモ其金ハ僅カ千圓
 テアル其金カナイ夫レテ自分ノ不動産ヲ賣ラウト思フ其價ハ二千
 圓ノモノデアアル三千圓ノモノデアアル、ケレトモ外ニ今適當ノ物カ
 ナイカラ其不動産ヲ賣ル其一部分ヲ賣ツテモ家杯ニナルト仕方カ
 アリマセヌカラ夫レテ全部賣ルト云フヤウナ事モ隨分アル其時ニ
 御前ハ代價ノ半額丈ケハ今入用カナイサウタカラ、ソナラ買戻

ハ出來ナイト云フヤウナコトハ餘リ窮窮ナ規定ト思ヒマシタカラ
之ハ削リマシタ

磯部四郎君 私ハ此條文ニ付テ即チ既成法典ノ八十四條ノ御削除ニ
ナリマシタ法文カ要リヤウテハナカラウカ知ラヌト云フ考ヘテ起
シマシタ先程丁度食堂テ何ニテ致シマシタカ詰リ此五百八十一條
ニ「不動産ノ賣主ハ賣買契約ト同時ニ登記シタル買戻ノ特約」ト
云フコトカアリマス、テアリマスカラ此法律ノ制限ニ從フヘキ買
戻カアレハ同時ニヤラナケレハナラヌ所カ此賣買後ニ於テ此法律
ノ制限ニ從ハスニ十年ナリ又七年ナリ八年ナリノ後ニ買戻チスル
ト云フ約束ヲ致シマス之ハ既成法典ニ依ルト再賣買ノ豫約ト看ル
ト云フコトニ爲リマスカラ双方ノ間ニシカ効力カ生セステ第三者
ニ對シテハ少シモ效能カナイ此所謂登記ヲ要セヌ約束ニ既成法典
テハ爲ツテ居ツタト思ヒマス雖シヤ登記ヲ要シテモ二十六條二十

七條ノ法文ニ依テ見ルト唯タ義務ヲ負フト云フノテアリマスカラ
所謂「プロアンセツション」シカ此要約者ニ利益ヲ與ヘナイカラ
少シモ第三者ニ對シテ効ト云フモノカナカツタヤウニ規定シテア
リマス其規定カ宜イカ悪ルイカ知リマセヌカ此處ニアル五百八十
一條以下ノ規則丈ケニ依ツテ見ルト此賣買後ニ是レヨリモ長イ期
限ヲ以テ是迄關フ所ノ普通ノ買戻契約ト云フコトヲシタ者ハ矢張
リ其期間内完全ノ効力ヲ持ツト云フコトニ爲ツテ仕舞ウシヤラウ
ト思ヒマス然ウスルト云フト即チ此五百八十一條以下ヲ置カレタ
理由カ丸ヲ消ヘテ仕舞ヒハシマスマイカ、デ私ノ考ヘテハ若シ此
買戻契約ト云フモノガ所有權ノ改良保存ニ害カアルモノテアルト
云フ理由カラ制限ヲ置カレタモノトスルナラハ其理由ト云フモノ
ハ賣買以後ニ至ツテ買戻ノ約束ヲ爲ス時ニモ成立シテ宜カラウト
相像致シマス、シテ見ルト賣買ノ契約以後ニ買戻ノ契約ヲシタモ

ノハ其契約ハ如何ナル效力ヲ持チ且其契約ト云フモノモ何年間シカ效力ヲ持タナイト云フカ如キ此受戻契約此處ニ關フ買戻契約ニ同一ノ制限ヲ附セネハナラヌト云フ法律ノ理由カ生シヤウカ知ラント云フ夫レ等ノ理由カアツタニ付テ既成法典ノ八十四條テハ「賣買後ニ於テ爲シ又ハ別證書ヲ以テ爲シタル受戻ノ要約ニ付テモ亦同シ」即チ二十六條テ唯タ對人ノ權利シカ生シナイト云フヤウナ規則カアツタノジヤラウト想像致シマス是レ丈ケテ御稱スルニナリマスルト詰リ此同時ニ其事ノアツタモノニハ此制限カ行ハレルケレトモ時ヲ過キテアツタ所ノ買戻ノ契約ト云フモノニハ少シモ此款ニ規定シテアル所ノ法律ノ制限ヲ加ヘルコトカ出來ヌ加ヘルコトカ出來ヌトスルト其契約ニ付テハ完全ニ自由ニ所謂無償契約ト云フヤウナモノニ爲ツテ仕舞ツテ夫レテ之レカ矢張り解除ノ條件ヲ以テ約束スルコトニシマスルト登記モシマスルシ然ウスル

ト此制限カ丸テ其爲ノニ錫キテ仕舞ヒハシナイカト思ヒマス夫レテ既成法典ノ立法ノ定ノ方カ宜シイカ悪ルイカハ暫ク措テ即チ其制限ニ背ク所ノ契約ハ大ニ社會ニ害ガアルモノト爲リマシタ以上ハ此制限ニ背イタ所ノ契約ハ爲シ得ラレヌヤウナ方法丈ケニ法律カ爲ツテ居ナクテハ爲ルマイト思ヒマス夫レ丈ケノ條文カナイカラ只タ八十四條ノ此賣買後云々ト云フ事ヲ削ツタ計リテハ足りヌテハナカラウカ知ラヌト云フ考ヘカアリマスガ如何ナモノテゴザイマセウカー一寸質問致シマス

梅田次郎君 只今ノ賣買ト同時ニ登記シタル買戻ノ特約ノ規定ハ是レテ宜シイトシテモ其後トカラ爲ス所ノ特約ニ關スル規定カ必要テハナイカ夫レニ付テ既成法典ノ如キ規定カアツタラ宜カラウト云フコトテアリマシタガ既成法典ノ今御引キニ爲ツタ規定ハ次ニ條ヲ説明シヤウト思ツテ居マシタカ恰度今御質問カアリマシタカ

ヲ御答へ旁々申上ケテ置キマスガ既成法典モ成程爲スノ義務ヲ生
 スルト云フコトハ表面ニ出テ居リマスガ夫レト同時ニ賣渡ノ豫約
 ハ登記ヲ爲スヘキモノテアルト云フコトガ略ニ二十六條カ二十七
 條カニ顯ハレテ居リマス其事ハ前ニ彼ノ賣買ノ豫約ニ關スル規定
 ヲ此處ヲ討論ニナツタトキニ一寸申シタコトテアリマス二十七條
 ノ方テ夫レカ能ク分リマス「賣渡ノ豫約ヲ登記シタルトキハ」云
 云登記スヘキモノト當然見テ居リマス事柄ハ私ハ夫レテ宜シイ然
 ウナクテハナラヌト思ヒマスガ唯タ爲スノ義務ヲ生スルト言ツテ
 ハ少シ釣合ヒガ合ハヌト云フ丈ケノコトテアリマス即チ既成法典
 ノ通りテアツテモ之ハ賣渡ノ豫約ニ爲ルテゴザイマセウ最も多ク
 ノ場合ハ賣渡ノ豫約又ハ賣買ノ豫約テアレハ尙ホ更ラノコトテア
 リマス、ケレトモ多クノ場合ハ賣渡ノ豫約テアルト云フノハ買戻
 ノ當事者カ期シナイコトカアル位テアルカラ賣主ノ方テ買主カラ

受取ツタ丈ケノ代價ヲ渡シサヘスレハ其不動産ヲ復タ自分ノモノ
 ニスルコトカ出來ルト云フ丈ケノモノテアツテ買主ノ方カラ迫ツ
 テ買ツテ呉レト云フヤウナコトノ出來ルモノテハナイト思ヒマス
 夫故ニ賣渡ノ豫約丈ケテアリマス賣渡ノ豫約丈ケテアルナラバ此
 前モ申シタコトデアリマスガ夫レハ矢張り隨意條件付ノ賣買テア
 ツテ其時更ニ條件付ノ權利ヲ生スル而シテ條件附ノ權利ト云フモ
 ノハ前ノ條件ノ一般ノ規定ニ依テ登記ヲスルコトカ出來マス登記
 ヲスレハ第三者ニモ對抗スルコトノ出來ルモノテアリマス然ウス
 レハ既成法典ノ規定ニ於テモ無論今磯部君ノ憂ヘラレタヤウナ事
 カ若シアルトナレハ矢張り此ヤウニ規定シテ置イテモ同シコトテ
 アリマス若シ磯部君ノ仰セニ爲ツタコトカ尤モテアツテ夫レニ付
 テ規定ヲ設ケルナラハ斯ウ云フ規定テハナイ矢張り賣買契約後ニ
 爲シタル買戻ノ特約ト雖モ五年ヨリ長イ期限ヲ以テ之ヲ爲スコト

ヲ得ナイト云フヤウナ規定カ必要ト思ヒマス本案ニ於テハ條件ノ效力ハ既往ニ遡ラヌト云フ方チ原則ニシマシタガ矢張り登記ヲ爲スコトハ暗ニ許シテアリマス又既往ニ遡ラナイト云フコトチ原則トシタマデテ當事者ノ特約チ以テ特ニ既往ニ遡ルヤウニスルコトハ出來ルヤウニナツテ居リマス尤モ此契約ノ解除ト云フモノニ付テハ明文カアツテ契約ノ解除ノ場合ハ第三者ニ對シテハ其解除ト云フモノハ效チ及ホサヌト云フコトカ明ニ規定ニ爲ツテ居リマスカラ普通ノ場合ニハ第三者ニ對シテハ效チ及ホシマス、ケレトモ此契約ノ解除ノ規定ハ當事者ノ意思チ以テ之チ改ノルコトガ出來ルヤウニ爲ツテ居リマス本款ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ之チ適用セスト言ツテアリマス夫レテアリマスカラ當事者カ特ニ第三者ニ對抗ノ出來ルヤウニ約束チスレハ夫レハ出來マス其場合ニハ或ハ債部君ノ憂ヘラルルヤウナ事カアルカモ知レマセヌ私ハ實際

ノ事チ知リマセヌカラ果シテ債部君ノ仰セラレタヤウナコトガ類無テアルヤ否ヤ存シマセヌガ外國チ承ツテ居ル所チハ然ウ云フ事ハ餘リ類無デナイト云フコトチ承ツテ居リマス後トカラ約束スルコトハ稀レテアルト云フコトチアリマス何セ稀レカナラハ此場合ニハ買主ト賣主トノ關係ト云フモノハ一旦絶ヘテ仕舞ウ賣買ノ契約モ濟ンテ仕舞ウ夫レテ買主ハ代價チ拂ヒ賣主ハ品物チ渡シテ登記マテシテ仕舞ウ夫レカラ後ニ今債部君ノ仰セニ爲ツタヤウナ契約チ結フト云フヤウナモノデアツテ見ルト新ナル契約チアルカラ賣主ト買主カ双方承諾シナケレハナラヌ、所カ最モ多クノ場合ニ於テハ買主ハ、ソナナ契約ハ承諾シナイ、何セシナイカト云フト賣主ノ勝手ノ時ニ自分ノヤツタ丈ケノ代價チ持ツテ來ルト返ヘサナケレハナラヌ然ウスルト云フト買主ノ方デハ其不動産チ充分ニ利用スルコトカ出來ナイヤウニナリマス然ウシテ自分ノ方ニ如何

ナル權利モアリマセヌ唯タ賣主ノ方テ氣ノ向イタ時ニ買戻サウト
 言ツタナラハ若シ賣主一方ノ利益ト爲ツテ買主ノ利益ト爲ラヌト
 買主ノ方テ波多ニ承諾シマセヌ縱令承諾スルトシタ所テ磯部君ノ
 仰セラルルヤウナ五年ヨリ長イヤウナ期限ヲ以テ然ウ云フ事ヲ契
 約スル況ンヤ何時テモト云フヤウナ條件ヲ以テ契約ヲ結フト云フ
 コトハ外國ニハ極ハノテ稀レナコトデアリマス又本案ニ於テハ唯
 タ黙ツテ然ウ云フ契約ヲシテモ夫レハ其效力ハ既往ニ遡ラヌ當事
 者間ニハ遡ルト言ヘマス、ケレトモ解除ノ規則テ黙ツテ唯タ買戻
 シト云フ約束丈ケシテモ第三者ニ對シテハ幾ラ約束シテモ效ハナ
 イ夫レデアリマスカラ當事者カ餘程注意深イ人テ買戻ノ約束チシ
 テ而シテ此權利ハ第三者ニモ對抗カ出來ルト云フコトヲ登記シナ
 イト第三者ニハ效ハナイ夫レ程注意深イ結約者デアツテ然ウシテ
 買主ノ方テハ不利益ノミアツテ利益カナイヤウナ契約ヲ承諾スル

ト云フヤウナコトハ餘リ毎度ハ起ルマイト思ヒマスガ若シ實際夫
 レカ大變頻繁デアレハ或ハ規定ヲ要スルカラ知レマセヌ

磯部四郎君 私ハ何ンテゴザイマス此立法ノ方ニ立入ツテ然ウシテ

既成法典ノ八十四條ノ「賣買後ニ於テ爲シ」云云ト云フ事ヲ復

シテ下サレタイト云フ考ヘハ決シテアリマセヌ之レカ宜シケレハ

之テモ宜シウゴザイマスルシ又只今梅君カラ申サレマシタ所ノ以

後ノモノテモ五ヶ年シカ夫丈ケノ契約チスルコトハ出來ヌト云フ

風ノ法文テモ宜シウゴザイマスガ唯タ私カ此第三款ニ是レ丈ケノ

制限ヲ設ケラレタモノヲ賣買カ成立ツテカラ僅カ一日カ二日ヲ經

テ更ニヤツタ契約ヲ以テ此制限ヲ丸テ反古ニシテ仕舞ウヤウナ契

約カ出來ルト云フヤウナコトハ誠ニ歎ハシイ譯テハナイカト云フ

所チ主トシテ質問スルノデアリマス其點ニ付テハ既成法典ニハ始

末ノ付クヤウニ爲ツテ居リマス、デアリマスカラ然ウ云フ買戻契

約ニ關係スル是丈ケノ制限ヲ立テナカラ其制限ハ朝ニ賣買チシテ
 午後ニ結ンダ契約ヲ以テ此制限ヲ破リ得ラルルヤウナ法律ヲ設ケ
 テ價クノハ些ツト出來榮ヘガ悪ルイテハナイカト云フコトヲ案シ
 テ質問チ起シタ次第テアリマス唯此法律ヲ滑タル丈ケノ場合カア
 リハシナイカト云フ考ヘテアリマス其事ニ付テハ既成法典ノ方カ
 宜シイカ悪ルイカハ知りマセヌガ兎ニ角既成法典ハ其點ニ付テハ
 始末ノ付クヤウナ規定ニ爲ツテ居リマス既成法典ニ於テモ登記云
 ヲト云フコトカアリマスガ之ハ今一應此二十七條ヲ御覽下サレハ
 直クニ分リマスガ豫約ノ義務カアツテ其義務チ更ニ本統ノ契約ニ
 取結ンタトキニ登記スルト云フコトニナツテ居リマスカラ、モウ
 別段ニ此事柄ニ付テハ豫約其モノヲ直クニ登記スルト云フヤウナ
 意味ニハ讀ノマセヌ兎ニ角賣買以後ニ結ンダ約束ハ對人ノ權利シ
 カ生シナイト云フコトニ極ツテ居ルヤウニ思ヒマス併シ乍ラ其事

柄ハトチラテモ宜シイ兎ニ角先程此制限ヲ設ケタ理由ト云フモノ
 ハ何處ニアルカト云ヘハ曖昧ノ所有權カ存シテ居ルノハ不都合チ
 アルカラ其所有權ノ保存改良ト云フモノガ妨ケラルルカラ是丈ケ
 ノ制限ヲ設ケル必要カアルト云フコトテアリマスカラ然レハ賣買
 以後ニ然ウ云フ契約カアツテ之カ五年ノかたニ七年トカ八年トカ
 ニ契約カシテアレハ矢張り其處ニ此法律ヲ設ケラルルニ付テ案シ
 ラレタ所ノ弊害ハ此場合ニモ矢張り存シハ致シマスマイカ然ルニ
 其契約ハ自由ニシテ置カレテ此處丈ケ是丈ケ制限ヲ置カレタノハ
 何ウ云フ譯デアラウカト云フ斯ウ云フ次第柄ヲ御尋ネ申シタノテ
 アリマス私ノ方テハ折角既成法典ヲ削ラレタノヲ話シテ下サイト
 言フタノテハ少シモアリマセヌ何ニカ宜イ案ハナカラウカ兎ニ角
 一ノ法律チ立ツテ置テ然ウ云フ事ハよもヤスマイト云フヤウナ一
 言チ以テ丸ヲ裏道チ明ケテ置クノハ如何ナモノテアラウカト云フ

考へ丈ケノコトデアリマス

長谷川喬君 私ハ一ツ伺ヒタイノハ此本條第一項ノ必要ト云フモノ
ハ例ノ目的デアラウカ本條ノ第一項カナイト云フト斯ウ云フ約束
ト云フモノハ或ハ公ケノ秩序トカ善良ノ風俗トカヲ害スルトカ夫
レテ此處テ許シテ置カヌト斯ウ云フ約束力無効テアル故ニ此處ニ
之ヲ置カナケレハナラヌト云フノテゴザイマセウカ夫レ丈ケ一ツ
伺ツテ置キマス

梅藤次郎君 本條ノ但書以上ノ事ハ明文カナクテモ無論出來ル事テ
アリマス唯タ乍併此五百八十一條ノ場合ハ普通ノ契約ノ解除ト違
フテ譬ヘハ次ノ條ニ至ツテ期間ノ制限カアリマス其次ノ條ニ至ツ
テ第三者ニ對シテ效力チ生スル然ウ云フコトカアリマス夫レテ特
ニ規定ヲ要スルト云フ考ヘテアリマス夫レテ買戻ノ特約ト云フモ
ノニ付テ即チ賣買契約ト同時ニ登記チシタ特約デアレハ此處ニ關

フ丈ケノ效力チ生スル斯ウ云フコトデアリマス其代リ契約ト同時
ニ登記チシタノテナイ外ノモノデアレハ夫レハ一般ノ規定ニ依ル
又場合ニ依テハ普通ノ條件ノ規定ニ依ルカモ知レヌ夫レ丈ケテア
リマス又但書ハ之ハ明文ハナイト斯ウ云フコトニハ爲リマセヌ

長谷川喬君 御説明テ稍々分ツタヤウデアリマスガ此文章カラ見ル
ト何ウモ買戻ノ特約ニ依テ解除スルコトヲ得ル即チ其特約力有效
テアルト云フヤウニ前段カ解イテアリマス果シテ然ウデアレハ此
條ニ依テ解除スルコトヲ得ルト云フノデアリマスカラ第二項カ不
用ニハ爲リマセヌカ何セナラハ第一項テ不動産ノ賣主ハ出來ルト
アリマス然ウスレハ動産ハ出來ヌト云フコトハ勿論テアルカラ此
第二項ハ不用テハナイカモウ一ツハ續シ文章ノ趣意ハ然ウテナイ
ニシタ所カ何ウモ此動産ニ限ツテ之ヲ禁スルト云フコトハ先刻ノ
御説明ノミニテハ何ウモ充分テナイカト思ヒマス即チ禁シテナク

テモ宜シイテハナイカト思ヒマス何セナラハ不動産ナラハ其改良ニ害ヲ爲ストカ公益上ノ害モゴザイマセウガ動産ノ如キモノハ改良ト云フコトハ殆ントナイ何ウモ此丈ケノ約束ヲ自由ニ任カシタ所カ害ニハ爲ラヌ而之ナラス或ハ利益テアラウ動産テモ先祖傳來ノ物カアル夫レチ賣拂フコトハ嫌ヤテアルノテアル乍併金カ要ルカラ何ウカ融通チ付ケタイトカ云フヤウナ場合ニハ夫レニ買戻ノ約束チスルコトカ出來ルト云フヤウニシタ方カ甚タ便利テハアルマイカシテ看レハ便利ハアツテモ弊害ハナイダラウ殆ントナイダラウ兼シアツテモ少ナイダラウ、夫レテアリマスカラ此第二項ノ必要ハ餘リナイタラウ、モウ一ツ伺ヒタイノハ本條ノ解約ノ場合ニハ但書ニモ既ニアルカ如ク契約ノ效力オハ既往ニ遡ラヌ斯ウ云フコトテアリマス所ガ一般ノ總則ノ解除條件ノ所テアリマス此解除條件付ノ場合ニハ條件カ成就シタトキニハ既往ニ遡ラヌ解除條

件テアレハ既往ニ遡ラヌ買戻ノ約束ノ場合ニハ遡ル斯ウ云フ區別ハ何處カラ生シタノテゴザイマセウカ

梅謙次郎君 第一ノ御問ヒハ御尤モノ御問ヒテ實ハ初ノハ此第二項

ハ置カナカツタノテアリマス、ケレトモ段々吾々ノ間チ相談チシマシタノテ何ウモ之カナイト禁シタト云フ精神カ顯ハレヌテ矢張り出來ルト云フ方ニ解スル嫌ヒカアルカラ寧ロ之ハ明ニ書テ置イタ方カ宜カラウト云フノテ斯様ニ致シマシタガ私一個ノ考ヘテ申セハ之ハ無クテモ同シコトニ爲ラウト思ヒマスガ唯タ念ノ爲ノニ老婆心テ置クコトニシマシタ又第二ノ御問ヒハ之ハ實質上許シタ方カ宜シイト云フコトテアリマスガ實ハ弊害モ動産ニ付テハ少ナイ、少ナイ代リニ又必要モナカラウト思ヒマス其譯ハ今御出シニ爲ツタノハ適例テアリマスカラ其儘例チ取リマスガ先祖傳來ノ賣物テス、動産、掛物カ何ニカアル此場合ニ於テ向フヘ之チ引渡サ

ヌケレハ被多ニ買ウ人ハアリマセヌ、デアリマスカラ向フノ人モ
 受取ツテカラテナケレハ金ヲ渡サヌ然ウスルト向フノ人カ夫レヲ
 又外ノ人ニ賣ツテ仕舞ウカモ知レナイ買戻ノ約束カアツタ所カ仕
 方カナイ、其時ニ二度目ノ買主カ轉意ナラハ夫レハ何ウモ仕方ナ
 イヤウニ爲リマス其處ヲ以テ見ルト許シテ置テモ許サナイテ置テ
 モ同シコトニ爲リマス唯タ許シテ置タト不幸ニシテ第三者カ夫レ
 ヲ知ツテ居ツタト云フコトカアル然ウスルト何ウモ之ハ買戻約款
 カ付テ居ルカラ己レハ買ハナイ、然ウ云フコトニ爲ルト其財産ハ
 所有者ノ意ノ如ク處分スルコトハ出来ナイ夫レモ僅カノ間ナラハ
 宜シイガ若シ年數カ長イトカ成ハ丸テ許シテ置ケハ無期限ニモナ
 リマスカ此規定ヲ適用スレハ五年テアリマスガ動産杯ニ付テ五年
 モ置タコトハ随分不便テ仕方カナイ斯ウ云フコトヲ許ス必要カア
 ラウカ禁シテ置イタ所カ左迄人カ不便ヲ感シナイ事口禁シテ置イ

タ方カ宜カラウト云フ位ノコトテアリマス又第三ノ御問ヒハ條件
 ノコト之ハ結リ當事者ノ意思解釋テアリマス條件カ既往ニ廻ル週
 ラヌト云フコトモ成ハ當事者ノ意思解釋テ私一箇ノ意見ヲ申セハ
 寧口既往ニ廻ルヤウニシテ置イタ方カ宜シカト思ヒマスケレトモ
 乍併又一方カラ考ヘテ見ルト既往ニ廻ルト云フコトハ元來「ヒク
 シヨン」テアル然ウシテ又随分弊害ノ多イ事テアル、デアルカラ
 シテ當事者カ明ニ夫レヲ首ヘハ仕方ナイガ左モナケレハ寧口既往
 ニ廻ラヌト云フコトニシテ置イタ方カ宜カラウト云フ考ヘテ總則
 ノ方ハ斯ク廻ラヌト云フコトニナツタノテアリマス、ケレトモ此
 買戻ニ付テハ先刻モ申シマシタ通り若シ之カ廻ラヌノナラハ殆ン
 ト買戻ノ約束ヲスル必要ハナイ夫レテアリマスカラ當事者ノ意思
 カ夫レニ付テハ何時モ儘ニ既往ニ廻ルモノテアツタト見ル夫レヨ
 リ外ニ理由ハナイノテアリマス

磯部四郎君 一寸質問致シマスガ此二項ハ此法律ノ趣意ニシテモ無
用ニナリハシマスマイカ何セナラハ第一項ヲ見ルト「賣買契約ト
同時ニ登記シタル買戻ノ特約ニ依リ」トアリマス動産ニ付テ登記
ト云フモノハナイ筈テアリマスカラ普通ハ動産ニ付テノ此賣買ノ
特約ト云フコトニ爲ルト之ニ付テハ何ウ爲リマセウカ先程ノ問題
ハ矢張り賣買カアツテカラ一時間以後位ニ直ク更ニ約束シタナ
ラハ之ハ何年テモ效力カアツテ然ウシテ置カレルト云フノテゴザ
イマセウカ只今私モ恰度疑ヒカ起リマシタノテ此法律ノ意味ヲ言
ヘハ賣買後ノ買戻契約ト云フノハ總テ無効ニスルノテアル斯ウ云
フ意味ニ解釋ヲシテ居ラルル方モ此委員中ニアリマス賣買以後ニ
ハ總テ買戻契約ヲ爲スヤウナコトハ出來ヌノテアルト云フヤウナ
解釋ニ爲ツテ居ル方モアリマスガ起草委員ノ論理デハ夫レハ何ウ
モ然ウ云フコトハヤル者モナイダラウカラ夫レニ付テ禁シテ置ク

ト云フヤウナ法文ノ必要ニナイタラウト云フヤウナ先刻ノ御論テ
アリマシタガ折角是レ丈ケノ制限ヲ設ケラレタモノテアルカラシ
テ總ニ同時ニヤツタモノハ有效又同時ニヤラナイモノハ總テ無効
テアルト云フヤウナ明ニ禁止法テモ立テラルルコトニ起草委員テ
御同意下サル譯ニハ往キマスマイカ何分是丈ケテハ私ノ考ヘハ裏
カ明イテ居リハシナイカト思ヒマス或ハ以後ノモノテモ其契約ヲ
シタナラハ此買戻ニ關スル規定ヲ準用スルトカ何ントカ云フヤウ
ナ法文ヲ一ツ御設ケニナツタナラハ宜シイ譯テハアリマスマイカ
尙ホ一應御考ヘテ煩ハシタイ積リテアリマス

梅田次郎君 二項ノ即チ動産ノ買戻ニ一項ノ規定カ嵌マラヌト云フ
コトハ磯部君ノ御説明ヲ俟タヌコトテアリマスガ其方ハ先ニ申上
ケタ丈ケテ夫レテ悪ルケレハ削除案ヲ出シテ御覽ヒ申スヨリ仕方
ナイ次ニ御述ヘニ爲ツタノハ大分極端ノ例テ契約ヲシテ一時間位

立ツテ買戻ノ契約ヲシタナラハ何ウカト云フコトデアリマスガ私
 ハ一時間所テナイ直クテモ双方ノ關係カ一旦極ツテ夫レカラハ買
 主カ純然タル所有者テアル即チ賣主ハ所有者テナイト云フコトカ
 極ツテ然ル後ニ賣主カ戻シテ吳レロト言ツテ買主ガ夫レチ承諾シ
 タト云フコトナラハ宜シイ夫レカ悪ルイト云フコトナラハ賣買ノ
 豫約ト云フモノハ總テ往カナイト云フコトニ爲リマス買主カ一旦
 人カラ買ツタモノチ甲ニ對シテ豫約チスルノハ制限シナケレハナ
 ラヌニ乙ト云フ者ニ對シテ豫約チスルノハ宜シイト云フ理窟ハ何
 ウシテモ出テ來マセヌ契約當時ノ買戻ノ豫約ナラハ即チ其約束カ
 ナケレハナラヌモノテアル或ハ其代價カ廉イトカ何ントカ云フノ
 チ付ケ込ンテ、、、ケレトモ一旦買取ツテ自己ノ所有物
 ニ爲ツテ、モウ賣ラウガ賣ルマイカ自己一身ノ考ヘ次第善シイト
 云フトキニ爲ツテ賣主カ同シ條件チ欲シイト言ツタラ買ハセテ吳

レ夫レハ十年ノ後トカ五年ノ後トカ斯ウ云フ事チ買主カ承諾スル
 ト云フコトハ私ノ想像テハ少ナイタラウト思ヒマスガ若シモ然ウ
 云フ場合カ多イナラハ又其買主カ外ノ乙トカ丙トカ云フ者ニ對シ
 テ御前カ是丈ケノ金チ以テ來タラハ御前ニ賣ツテヤラウト云フコ
 トチ豫約スルコトモ出來マセウ其場合テモ初ノ賣主今カラ見レハ
 所有者テモ例ンテモナイ者又初ノカラ所有者テナイ者トノ區別チ
 置キ唯タ一方ハ許シテ置キ一方ハ禁スルト云フ理由カゴザイマセ
 ウカ此點ハ却テ磯部君ニ伺ヒタイノテアリマス夫レカラ登記カラ
 後ナラハ一分間後テモ宜イ其後ニ於テ約束チスルコトカアツテモ
 當事者カ縱令買戻ト言ツタ所カ此處ニ規定シテアル買戻ノ約束チ
 ナイ其登記モ第三者ニ對シテ效力チ生スル又期間ニ制限カアルト
 云フヤウナコトハナイ無償契約ト言フカ賣買ノ豫約ト言フカ賣買
 ヨリモ寧ロ賣渡ノ豫約テゴザイマセウガ夫レ位ノコトシカナイ其

點カラ見レハ今五百八十一條ノ所カラ見レハ適用カナイ禁シテアルトハ言ヘマセヌガ適用カナイト言フコトニ爲リマス

磯部四郎君 私ハ何ニモ自分ノ説ニ拘泥シテ彼是言フ考ヘハゴザイマセヌガ成程今仰セノ通りニ既ニ夫レカ爲ラヌトスレハ會テ賣主テモナイ買主テモナイ人カ突然或ル所有者ト約束スルトキテモ矢張り禁止法ヲ置カナケレハナラヌト云フコトニ爲リハシナイカ一旦賣買カ完結ヲシテ後一分間ナリトモ契約ヲ爲スコトハ出來ヌト云フヤウナ御論ノヤウニ承リマシタガ夫レハ成程夫レテ宜シウゴザイマス然ウスルト主義カ其處テ別レテ來ルト云フコトニ考ヘマスガ私モ成程理窟カラ言フト然ウテアリマスガ隨分賣主ト買主トノ關係ト云フモノカ一日ヤ二日ノ間テ絶ヘテ仕舞ウモノテナイノテ會テ何ニラノ取引モシナイ人ト新ニ充分ナル自由ノ意思ヲ以テヤル場合トハ實際ニ於テ大キニ情カ異ナラウト思ヒマス考ヘハ

私カ一時ノ金圓ニ切迫シテ居ル之カ十日ナリ二十日ナリ後ニ爲ツテカラ夫レテ戻シテ呉レト云フコトト又會テ賣ツタ人デモナケレハ買フタ人テモナイヤウナ人ト相談スルコトハ實際ノ情ニ於テ大變異ナルト云フ考ヘテ持ツテ居リマス夫レテアリマスカラ既ニ買戻ノ契約ニ付テ是丈ケノ制限ヲ置ク必要カアリトスレハ夫レ等ノ場合ニ於テモ亦之ニ類スル丈ケノ制限ヲ置ク必要カ生シテ來ヤウト云フ考ヘテ持ツテ居ル丈ケノ話シテアリマス又一「動産ニ付テハ買戻ノ特約ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フ此買戻ノ特約ト云フモノニ付テハ矢張り賣買ト同時ニト云フ話シテアリマスガ然レハ此動産ニ付テ一日カ二日ノ後二十年ナリ二十年ナリノ無償契約ト云フ名ヲ以テ買戻ノ契約ヲ自由ニスルコトカ出來ルト云フコトニナルト詰リ此第三款ニ買戻ノ契約ト云フモノヲ置テ其理由ヲ承リマスレハ長イ時間ニ於テ夫レテ爲スコトカ出來ルト所有權ノ改良トカ保

存トカニ害カアルトカ言フヤウナ理由ハ消ヘテ仕舞ツテ禁シタ場
 合ニ於テ禁シナイ事ニ付テハ餘程此理由カ薄弱ニ爲ツテ仕舞ヒハ
 シマスマイカ其位ノ制限ハ必要カナイナラハ寧ロ此款ハ除テ仕舞
 ツテ土方君ノ如ク契約ノ自由ニ放任シテ置イタ方カ宜クハナイカ
 知ラヌト云フ考ヘテアリマス折角制限ヲ置カレタナラハ此制限ハ
 潜リ悪クイコトニシテ置カナケレハナラヌ而シテ實際ハ何ウテア
 ルカト云フコトニナリマスレハ屢々此契約以後ニ於テ買戻ノ契約
 ナスルト云フコトカアル甚シキニ至ツテハ何時テモ買戻スコトカ
 出來ルト云フカ如キ契約カ成立チマス、デ梅君ノ言ハレルニハ實
 際ハ知ラヌ歐羅巴ニハ然ウ云フコトハ稀レテアルト云フコトテア
 リマスガ乍併此法律ハ日本ノ法律テアラウト考ヘマスカラ歐羅巴
 ニ稀レナト云フ理窟ハ少シク立チ悪イカト思ヒマス夫レテ立法ノ
 主義カ反スルノテアリマスカラ要ラヌト云フコトテアレハ夫レマ

テテハアリマスガ夫レナラハ寧ロ此款ハ土方君ニ同意シテ制
 除シテ仕舞ツタ方カ宜カラウト云フ考ヘテアリマス

井上正一君 一寸質問致シマスガ此第一項ニ「賣買契約ト同時ニ登
 記シタル買戻ノ特約ニ依リ」云々ト云フコトカアリマスガ此處ニ
 ハ何ウテゴザイマセウカ唯タ其買戻ノ特約チスレハ當事者間ニハ
 其賣買ヲ解除スルコトカ出來ルト云フコト丈ケテ御極ノニ爲ツタ
 方カ能クハアルマイカト思ヒマス其所以ト云フモノハ縱令此賣買
 契約ト同時ニ登記チシナクテモ當事者間ニハ矢張り買戻ノ特約カ
 アレハ賣買ノ解除カ出來ルモノトシナケレハナラヌモノテアリマ
 スマイカ唯タ此處ニ「賣買契約ト同時ニ登記シタル」云々ト書イ
 テアルト買戻ト云フモノハ第三者ニ效力チ及ホス即チ前ニ述ツテ
 或ル場合ニハ效力チ及ホスモノテアルト云フコトチ言フカ爲ノニ
 御書キニ爲ツタモノト思ヒマスガ今申シタヤウニ唯タ「賣買契約

ト同時ニ登記シタル」云々ト書クト登記ヲシナイトキハ當事者間ニハ何等ノ特約カアツテモ賣買ヲ解除スルコトハ出來ナイト云フヤウニ解サレテハ基タ起草者ノ御意見ニモ反シヤウカト思ヒマスガ如何テゴザイマセウカ

梅田次郎君 一体此案ノ精神ハ餘程制限スル方ノ精神テアリマスカラ賣買契約ト同時ニ買戻ノ特約ハシタケレトモ登記ハ暫ラタ見合ハセテ賣買契約ノ本文丈ケ登記ヲシテ置クト云フヤウナコトハ許サヌ夫レハ第三者ニ匿シテ置クト云フヤウナコトカアルカラ夫レハ宜シクナイカラ許サヌ夫レテ必ス賣買契約ト同時ニ登記シナケレハナラヌ此處テハ唯タ第三者ニ對スル條件テハナクシテ苟モ買戻ヲ買戻トシテ有效ナラシメント欲レハ必ス登記ヲシナケレハナラヌ其代リ買戻ノ特約ト云フモノデナイ先キカラ言フ所ノ賣渡ノ豫約ト云フモノデアレハ夫レ丈ケヲ無論登記スレハ夫レテ宜シイ

夫レハ同シ當事者間ニ於テアルノト當事者カ違ウノト區別シナイコトニ爲ツテ居ル此處ニ關フ買戻ハ賣買契約ト同時ニ登記シタノテナケレハ往カヌ唯タ登記ハ矢張り普通ノ場合ノ如ク第三者ニ對スル條件テアリマスカラ登記ノ方ハ後トカラシテ宜シイト云フ譯テハナイノテアリマス

井上正一君 私カ申スノハ此賣買契約ト同時ニ登記シタル買戻ノ特約カアツタナラハ其賣買ヲ登記スルトキニ即チ不動産ノ賣買ヲ登記スレハ買戻ノ契約モ登記スルニ違ヒナイト思ヒマス而シテ今ノ御説明ニ依テ見ルト之ハ此買戻ニ付テノ登記ト云フモノハ其效力カ殆ント第三者丈ケニ及フノテナク矢張り一緒ニ登記シテ置カヌト當事者間ニモ效力カナイト云フヤウナ御説明テアリマシタガ或ハ私ノ應キ誤リカモ知レマセヌガ然ウ云フヤウニ聽取リマシタガ何ウテゴザイマセウカ即チ第三者丈ケナラハ之ハ無クテモ宜

クハナイカト思ヒマスガ然ウスレハ後トノ第五百八十三條ノ方チ
 登記シタル買戻ハ第三者ニ對シテモ其効力ヲ生スルト云フ風ニ御
 審キニナツタラ即チ其登記ト云フモノハ賣買ノ登記ト一緒ニ登記
 シタト云フコトニモ解サレヌコトハナイト思ヒマス此處テ以テ何
 ウモ一寸見ルト賣買ノ契約ト同時ニ登記シタル買戻ノ特約ニ依リト
 云フト登記チシナイト云フト當事者間ニモ賣買ヲ解除スルコトハ
 出來ナイヤウニ解セラルル然ウテハナイ何ウモ賣買ヲ解除スルト
 云フコトハ即チ當事者間ニ生スル効力タラウト思ヒマスガ故ニ夫
 レハ第三者間デナイ即チ當事者間ニ生スル効力ト思ヒマスガ
 梅謙次郎君 普通ノ解除ナラハ總テ此處ノ規定ニ依ラスシテ出來ル
 夫レハ前ノ解除ノ一般ノ規定ノ所テ充分テアラウト思ヒマス此處
 ノ第三款ノハ即チ買戻、斯ウアルト法律語ニ爲ツテ法律語ノ買戻
 ト云フモノハ當事者間第三者間ト云フ區別ナク賣買契約ト同時ニ

登記チシタモノテナケレハ効力ハナイ何ントナレハ井上サンノ仰
 セニ爲ツタ所チ酌ンテ見ルト斯ウ云フヤウニ聞ヘル元來登記ハ第
 三者ニ對スル條件テアルカラ當事者間ニ於テハ登記チシナクテモ
 賣買契約ト同時ニ特約サヘシテ置ケハ宜シイ而シテ五百八十三條
 ニ至ツテカラ登記チシテナケレハ第三者ニ對シテ効力ノナイト云
 フコトハ或ハ登記法ノ結果テモ分ルカモ知レヌガ夫レカ疑ハシイ
 カラ此處テ登記シタルト云フコトヲ審テハ何ウカト云フ事テアリ
 マスガ私共ノ考ヘテハ縱令ヒ契約ト同時ニシテモ夫レ丈ケテハ往
 カナイ夫レテ賣買契約ノ登記チ先キニシテ仕舞ツテ後トカラ買戻
 ノ方チシテモ夫レハ往カナイ此處ノ買戻ト云フコトニハ爲ラヌ普
 通ノ解除ト云フコトニハ爲ルカモ知レヌ或ハ解除ト言ハヌテモ夫
 レハ新ナル賣買ト看ル斯ウ云フ事ニ爲ル

井上正一君 然ウスルト此買戻ニ付テノ登記ト云フモノハ第三者ニ

對シテノ效力許リデナシニ當事者ノ間ノ解除ト云フモノノ效力ニ付テモ必要テアリマスカ

梅藤次郎君 當事者ノ間ニ生スル效力ト云フコトテハマダ足りマセヌ此處ニ關フ、、、、、

井上正一君 然ウスルト買戻ノ登記ト云フモノハ第三者ニ對スル效力ノミナラス當事者間ニ於テモ此登記ヲ以テ效力カ生スルト云フコトテアリマスカ

梅藤次郎君 此處ニ關フ所ノ效力ハ然ウテス

土方 事君 一体此第三款ハ無クテモ宜シイト思ヒマスガアツテモ構ヒマセヌガ先刻磯部君ノ御心配ハ梅君ノ御説明ヲ解ケヌト思ヒマス詰リ甲カ乙ニ賣ル約束ヲシテ今度甲ナル者カ乙カラ夫レヲ買ウト云フヤウナコトニ爲ルト夫レハ新タナーツノ約束テアルカラ夫レテ差支ヘナイト思ヒマスカ井上君ノ今ノ御心配ハ梅君カ言ハ

レタノハ名ハ解除テ賣ハ新タナル賣買テアル代價ハ幾ラトカ色々ナ事ヲ殊更ニ言ハヌデモ元ト賣ル約束ヲシタ値段通りト云フコトヲ簡便ニシテ双方ノ意思ヲ言ヒ著ハスカ知レヌ解除ハ賣ハ新タナル賣買ト思ヒマスガ夫レハ登記ヲセヌテモ有效テアル乍併夫レハ第三者ニ對シテハ登記ヲシナケレハ其效力カナイト云フコトハ斷テ快チマセヌガ又長谷川君ノ御質問ニ對シテ梅君カ説明セラレタガ夫レハ寔ニ薄弱ト思ヒマスガ梅君ノ御懸念ハ許シテ置ク必要ハナイ又禁シテ置テモ害ハナイト云フコトヲ事口此二項ハ側ツタ方カ宜シイト思ヒマス二項ヲ側ツタ文ケテハ一項ノ中ニ「不動産」云々ト云フコトカアリマスカラ二項ヲ側ル懸念ナラハ二項ヲ側ツテ一項ノ本文ノ中ノ「不動産ノ」ト云フ四字ヲ側ツテ又但書ノ中ノ「不動産ノ果實」ト云フノチ、、、、、併シ少シ必要カアリマス

横田國臣君 梅サンノ今ノ御答辨ハ分リマシタカ私ハ少シ分リ兼ネ
 ル所カアリマス夫レテ起草者カ今ノ假令ヒ買戻チシテモガ同時ニ
 登記シタル買戻テナケレハ第三者ニ對シテ効力チ及ホサヌ即チ登
 記ハ出来ナイト云フ御意ナラハ兎モ角モ分リマス乍併此賣買契
 約ト同時ニ登記シタノテナイ後トテ買戻ノ契約チスレハ夫レハ今
 ノ唯タノ豫約ニナル賣買ノ豫約ニ爲ルト云フコトナラハ私ハ少シ
 夫レハ違ウテアラウト思ヒマス

梅藤次郎君 私ハ必ス然ウ言ツタノテアリマセヌ當事者ノ意思ヲ然
 ウ見ルヘキモノモアラウシ又然ウテナイ丸テ此處ノ第三款ノ規定
 ニ依ラス普通ノ解除モアル普通ノ解除ナラハ第三者ニ効力チ及ホ
 サズ

横田國臣君 然ウスルト最早私ハ今申上ケタ通りノ登記チスル第三
 者ニ効力チ及ホス所ノ買戻ハ之レ許リト云フコトテアリマスカ

梅藤次郎君 然ウテス

横田國臣君 夫レナラハ分リマス夫レカラ第二項ニ付テモ少シ御考
 ヘチ願ハネハナラヌコトハ此買戻ト云フモノハ動産ニ付テハ禁ス
 ル成程所有者ハ定ツテ居ルカ外ノ者ニ對シテ處分權チ行フコトカ
 出来ヌトカ何ントカ云フコトハ寔ニ經濟上往カヌコトテアルト云
 フコトテコザイマセウガーツ御考ヘチ願ヒタイコトハ此動産ニ付
 テモ買戻ト云フコトカ非常ニ必要ナコトカアリマス其必要ナルコ
 トト云フモノハ經濟上ニ付テモ必要ナルコトカアリ又慣習上ニ付
 テハ尙ホ更ラテアリマス夫レハ或ハ此品物ハ御前サンナラ賣ラウ
 ガ何ウゾ買戻サセテ呉レト云フヤウナコトモアリマス夫レハ慣習
 上アリマスガ其レノミナラズ賣チ置ク此賣チ置クト云フコトハ經
 濟上宜クナイ賣チ置クノハ勝手次第ニ使ツタリ利用スルコトカ出
 來マセヌ此賣ニ置イタナラハ其置キ主ト云フモノハ利息チ拂ハナ

ケレハナラヌ併此買戻ノ契約ニ爲ルト其買ツタ人ト云フ者ハ自由ニ夫レチ用キテ其動産ノ働キヲサセルコトカ出来ヌ賣ツタ者ハ利息ヲ拂ハヌテ後トニ爲ツテ元金サヘ持ツテ往ケハ之ヲ買戻スコトカ出来ル夫レテ之ハ他ニ轉シテ居ル物ハ取ルコトハ出来ヌガソ
 ンナ事ハ言ハヌテモ宜シイ夫レテ其時分ニハ約・ニ背イタナラハ其賠償ヲ求メル其レ丈ケ差支ヘナクテ却テ是迄モヤリ居ルカラヤラセタ方カ宜シイト思ヒマス經濟上ニ取ツテモ然ウ惡ルイコトハアリマセヌ何レ買戻ノ契約ヲスルナラハ必スアノ人ナラハ賣ルマイト云フヤウナ人ニ相違ナイト思ヒマス夫レテ何ウテゴザイマセウカ之ヲ購々置ク必要カコザイマセウカ

高木豐三君 此條ハ大分評判カ悪ルクテ攻撃許リテアリマスガ私ノ考ヘタ所チ一言シテ置キタイト思ヒマス成程井上君ノ御議論ハ立法論トシテハ最モ正當ナ御議論ト思ヒマス併シ殊更ニ夫レチ働ノ

ルカ爲ノニ此條ハ出来タノテアルト思ヒマス第一ニ二項ノ方カラ申シマスガ動産ニ付許サナイノハ何ウ云フ譯カ私モ之ヲ禁スル必要カ必スアルトハ申シマセヌガ併之ハ登記ガ出来ナイ動産ニ付テハ登記カ出来ナクテ動産ノ性質カ人ノ占有ニ依テ所有者ノ看做スト云フ斯ウ云フ規則ニ爲ツテ居ルト云フト之カ轉々シテ買ウ者ハ登記ハ出来ナイ第三者ニ對シテ效ハナイト云フコトニ爲ルト結リ此契約ハ何ノ效力モナイ雖シ之ヲ許シテ見タ所ガ實際ノ效力ハナイノ絶對的ニ無イトハ言ヒマセヌガ蓋ニ薄弱ナルモノデ双方ノ間ニ買戻ノ約束カ出来ルト云フ丈ケノ話シテアリマスカラシテ之ハ是レテ宜シイト思ヒマス夫レカラ第一項テアリマスガ如何ニモ此買戻ノ契約チ双方ノ間テシタトキニハ登記チセヌテモ效力アルト云フコトハ之ハ無論ノ話シト思ヒマス併若シ之ヲ登記チセスニ置テハ第三者ニ對シテ效力ナイト云フコトハ之ハ言ハスシテ皆

御承知テアラウト思ヒマス然ウシテ見ルト登記カシテナカツタ爲
 ノニ第三者カ買ツテ仕舞ヘハ則チ買戻約款ニ依テ買戻ノ機能ヲ得
 ヤウト思ツタ人ヲ保護スル趣意カ全ク無クナリマス其處テ此買戻
 約款ノ賣買ニ限ツテ登記ト云フモノヲ此契約ノ成立ノ要素ニスル
 ト云フコトハ如何ニモ是迄ナイ例テアリマス、ケレトモ此處ノ買
 戻ノ契約ヲ持ツテ居ル人ヲ篤ク保護スルト云フ趣意カラシテ此契
 約ニ付テハ其約款ト同時ニ登記ヲシナケレハナラヌ又第三者モ夫
 レカ爲ノニ損害ヲ蒙ルヤウナコトハ萬ナイ損害ヲ蒙ルト云フノ
 ハ譬ヘハ賣買ノ時ナラハ登記ヲ見ルカラ宜カラウガ裁判ノ末差押
 チスル今一步進ンテ言ヘハ假差押ヘチスル假差押チシ若シクハ差
 押ヘチシタモノガ何ウモ矢張り第三者ニ對シテ效力ナイト云フカ
 モ知レマセヌカ或ハ然ウ云フ場合ニハ登記ヲ見ル見ナイニ拘ハラ
 ス双方ノ間ニ買戻ノ契約カアレハ其效力カ及フト云フコトニ爲リ

ハシマセヌカ爲ラヌケレハ爲ラヌテモ宜シイガ兎ニ角登記チシテ
 置クト云フコトハ買戻ノ權利ヲ持ツテ居ル人ヲ保護スルト云フコ
 トニハ充分ニ爲ラウト思ヒマス夫レテアリマスカラシテ夫レカ或
 ハ夫レ程ノ保護ハ要ラヌダカラ登記ノコトハ削ルト云フ斯ウ云フ
 コトテアレハ宜シイ、ケレトモ唯タ之ハ波法界ニ攻撃計リシテモ
 往カナイト思ヒマス

長谷川喬君 私ハ矢張り本條ノ二項ハ削除スルカ宜シイト思ヒマス
 土方君ハ削除説ヲ出シ掛ケテ引込ノラレ又横田君ノ御説モ削除ニ
 傾ヒテハ居リマスガマダ出サレマセヌカラ私カラ出シテ置キマス
 其理由ハ先キニ質問トシテ述ヘマシタ時ニ土方君横田君ハ動産ニ
 付テ買戻ヲ禁スル必要ハナイト云フコトヲ述ヘラレタガ其通りテ
 アリマスガ尙ホ利息制限法ヲ存シテ置クト云フ御考ヘテアルナラ
 ハ勿論此第二項モ必要テゴザイマセウガ既ニ屢々御述ヘニナツタ

如ク今度ハ此利息制限法ハ廢シテ仕舞ウト云フコトテアル然ウシ
 テ見レハ此第二項ハ益々不必要テアラウト思ヒマス横田君ハ債權
 ニ不動産ノ買戻ノ約款カアルト云フコトテアリマシタガアルコトハ
 アリマス、アルノハ何ウ云フコトヲ言フノテアルカト言ヘハ損料
 貸ノ名義ヲ以テヤツタリ何ニカスルノガ續々アリマス夫レハ何ニ
 カナラハ全ク高利貸杯カ利息制限法ヲ濫ルカ爲メニ拵ヘルノテ惡
 ルイ例テハアリマスガ今申シマシタ通り利息制限法ヲ廢スト云フ
 御考ヘナラハ茲ニ至テ窮窟ナモノヲ杯ヘテ置クニ及ハヌ左モナイ
 ト先キニ申シタヤウナ弊カアラウト思ヒマス然ウスルト之ハ削ツ
 タ方カ宜シイト思ヒマス然ウスルト云フト第一項ノ方モ文章上カ
 ラモ餘程不明瞭ト思ヒマスガ併シ梅君カ辯明セラレタ所ニ依ルト
 斯ウ云フ趣意テアルト云フコトテアリマス即チ不動産ノ賣主ハ賣
 買契約ト同時ニ登記シタ買戻ハ本款ノ支配ヲ受ケルト云フ意味テ

アル登記チシナケレハ其契約ハ勿論有效タカ唯ダ此支配ヲ受ケラ
 レヌト云フ丈ケテアル斯ウ云フコト丈ケナラハ第二項ヲ削ツテ置
 イタ所テ矢張り此支配ヲ受ケナイ不動産ニ付テハ此支配ヲ受ケナイ
 併シ契約者間當事者間ニ於テハ有效ナリト云フコトハ尙ホ不動産
 ノ買戻契約チシテ登記シナイ場合ト同様テアラウト思ヒマスカラ
 夫レテ本條ハ本体ハ是デ宜シイト思ヒマスガ併シ先刻外ノ人ノ一
 寸注意カアリマシタシ私モ同様ニ考ヘマスガ此處ニ「支拂ヒタル
 代金及ヒ契約ノ費用ヲ返還シテ」トアリマスガ「支拂ヒタル代金
 」ト云フタナラハ五十圓、百圓テ買ツタモノハ百圓テナケレハ此
 款ノ支配ハ受ケラレヌ嚮ヘハ今日百圓テ賣ルケレトモ買戻ストキ
 ニハ、百五圓、二百圓ト云フコトニシタ場合ニハ此款ノ支配ハ受
 ケナイト云フ趣意テゴザイマセウカ現今アル所ノモノハ多クハ代
 價ハ増シテ居ル百圓ニ賣ツタモノハ一割トカ二割トカ云フ金高チ

増シテスルト云フヤウナコトカアリマスガ此條ノ趣意ハ此文字ニ
 書テアル通りニ「支拂ヒタル代金」トアリマスカラ同額ノ代金ノ
 積リテゴザイマセウカ、モウ一ツハ如斯窮窟ニ「支拂ヒタル代金
 及ヒ契約ノ費用ヲ返還シテ」トアリマスガ是レ丈ケテハ不充分テ
 ハアリマセヌカ即チ五百八十五條ノ如キハ不動産ニ付キ費用ヲ出
 シタルトキニハ矢張り期間内ニ償還シナケレハナラヌ斯ウ云フコ
 トニナツテ居リマス、テアリマスカラ費用中ノ或ル部分ハ通レテ
 宜シイト云フ例外カアリマスガ全体ノ費用ニ付テハ矢張り期間内
 ニ拂ハナケレハナラヌカラシテ之モ矢張り必要條件トシテ代金費
 用ト並ヘテ置ク必要ハアリマスマイカ

梅謙次郎君 只今ノ二點ノ御質問ニ御答ヘ致シマス第一ノ御問ヒハ
 金高ハ必ス支拂ヒタル代金テナケレハナラヌカ夫レトモ代金ヲ増
 シテモ宜シイカ或ハ減シテモ宜シイカト云フコトテアリマスガ然

ウ云フコトモ出テ來ルテゴザイマセウ之ハ吾々起草ノ節餘程考ヘ
 マシタコトテ外國ノ例モ明カニ此點カ規定ニ爲ツテ居ラヌノモア
 リマスガ詰リ代金ヲ多クシテモ宜シイト云フノト必ス代金ト云フ
 コトニ爲ツテ居ルノト兩方アリマシタ巴威爾ノ民法草案ノ如キハ
 必ス同一ノ價カ左モナケレハ其時ノ價カ其外ハ爲ラヌト明ニ書イ
 テアリマス外國ノ例ハ詰リ區々ニ爲ツテ居リマス夫レテ餘程考ヘ
 マシタ、所ガ元來此買戻ト云フモノハ隨分弊害ノアルモノテ餘リ
 望マシイモノテナイト云フ考ヘチ持ツテ居ルノテ窮窟ニシテ置ク
 方カ宜カラウト思ヒマシタ夫レテ若シ之ヲ其代金ヲ幾ラ増シテモ
 宜シイト云フト云フコトニナルト買戻ノ目的即チ買戻ヲ許シテ置
 カヌテハ實際不便テアルト云フヤウナ其目的以外ノ事マテ行レル
 ヤウニ爲ラウト思ヒマスカラ之ハ窮窟ニ其代金丈ケニシテ置カウ
 ト云フ考ヘテアリマスガ併シ其邊ハ尙ホ御考ヘチ願ヒマス夫レカ

ラ第二ニ五百八十四條ノ色々ナル費用モ矢張り此處ニ遁入ラナケ
レハナラヌテハナイカト云フコトテアリマスガ此事モ餘程考ヘマ
シタガ外國ノ例ハ隨分然ウ云フ風ニ爲ツテ居ルノモアル其方カハ
よつトスルト多イカモ知レマセヌ、ケレトモ私共ハ此點ハ既成法
典ノヤウニ爲ツタ方カ種カテアラウト思ヒマシタ費用ト云フモノ
ハ必ス掛ケルト云フコトハアリマセヌ保存費ノ要ルコトモアリ改
良費ヲ掛ケルコトモアル詰リ後トカラ保存ト云フコトヲ爲シ改良
ト云フコトヲ爲シタトキニ權利カ生シテ來マス夫レハ初ノ方ニ
ハ入レナイ方カ種カテアラウト云フ考ヘテ餘程勘考ノ末此點ハ矢
張り既成法典ノ通りニシテ置キマシタ

横田國臣君 私ハ此二項ヲ削ルト云フ意ハ長谷川君ニ贊成テ唯タ意
カ贊成夫レテ此動産ニ付テ買戻ノ特約ヲ爲スコトヲ禁シタ之ハ往
カヌト云フコトハ申上ケマシタガ尙ホ申上ケタイノハ之ハ禁シテ

置テモ恰度此通りノ事カ出來マス何セナラハ賣買ノ豫約ヲ禁スル
コトハ出來マセヌ然ウスルト賣買ノ豫約ト云フモノト買戻ト云フ
モノトハ實ハ違ウガ一緒ニスルコトカ出來ル夫レハ此動産ヲ賣ル
ト云フコトヲスル夫レテ私カ此約束ヲスルニハ此動産ハ何年何月
迄ニ買オウト云フ豫約ヲスル若シ夫レテ其時マテニ買ハヌテ居ツ
タナラハ此契約ハ解除スルト云フコトニスルト恰度實際ハ買戻ノ
契約ト同シコトニ爲リマス實際斯ウ云フコトヲ禁シタカラト云ツ
テ役ニ立チマセヌ夫レテ斯ウ云フコトヲ懸々掲ケルニ及ハナイ又
賣買ノ豫約ヲ禁スルコトハ到底出來ナイ又是迄價得テヤツテ來テ
居ルカラ必スシモ言フニモ及ハヌト云フノテ之ハ除クト云フノテ
スケレトモ唯タ之ヲ削ツタ計リテハ往カナイ若シ之ヲ削ルト云フ
コトニスルト第一項カラシテ私ハ一体ノ買戻ト云フモノヲ變ヘテ
來ナケレハナラヌト思ヒマス前ノ所チ「不動産ノ賣主ハ」ト云フ

ヤウナコトニセステ「賣主ハ」ト云フコトニシテ「賣主ハ買戻ノ
 特約ニ依リ」是々ト云フヤウナコトニシテ不動産ニ付テハ賣買契
 約ト同時テナケレハ登記スルコトハ出来ナイトカ云フヤウナ箇條
 チ設ケテ然ウシテ又不動産ニ付テモ此買戻ノ特約ニ付テハ何年ト云
 フ年限ト云フモノヲ定メルヤウニセネハナラヌト思ヒマス餘リ長
 タラシイノハ宜クナイト思ヒマス豫約テモ矢張り其規則カナケレ
 ハナラヌト思ヒマス夫レテアリマスカラ之ヲ削除スルト云フ意ニ
 ハ賛成テアリマスガ若シ長谷川君力之ヲ削ツテ今ノヤウニ改メ
 ト云フコトテアレハ賛成シマス夫レテ此五百八十一條ノ一項ト云
 フモノヲ不動産テモ不動産テモ適用セラルルヤウニシテ二項ニハ不
 動産ハ斯ウ云フヤウニスルト云フヤウニシテ又五百八十二條ニ至
 ツテ此買戻ノ期間ハ五年テモ三年テモ然ウ云フ規定カ必要ト思フ
 ノテス

長谷川喬君 夫レハ極ク必要ダカ大カシイト思フ

井上正一君 私ハ先刻質問シマシテ御説明モアリマシタガ私ハ何分
 何ウモ此「賣買契約ト同時ニ登記シタル」ト云フコトハ必要テ
 アラウト思ヒマスカラ之ハ削除スルト云フ説ヲ出シマス何ウモ先
 刻質問致シマシタガ此場合ニ登記カ當事者間ニモ必要テ登記ニ依
 テ其效力チ生スルト云フコトハ少シ具合カ悪ルイト思ヒマス又此
 登記チシナクテモ即チ不動産ノ賣買ニ買戻ノ特約チシタナラハ即
 チ此賣買ノ項目トシテ登記スルモノテアラウト思ヒマス登記シナ
 イト買主カ第三者ニ譲ツテ仕舞ウト丸テ此買戻ノ契約チシテ置テ
 モ何ニモ爲ラヌ夫レテ當事者ト經界スル爲メニ此登記ト云フモノ
 チ此場合ニ限ツテ特ニ效力カ第三者ニ及ンテ其登記チ賣買契約ト
 同時ニシナイト云フト當事者間ニモ此買戻ノ效力カ生シナイト云
 フ結果ニ至ラウト思ヒマスカラ此「賣買契約ト同時ニ登記シタル

ト云フコトヲ削除シタイト思ヒマス

奥田義人君 賛成

長谷川喬君 私モ井上君ニ賛成シタイト思ヒマスガ併「賣買契約ト同時ニ」ト云フコト丈クハ必要テアラウト思ヒマス故ニ此文字丈クハ殘シテ置テ夫レニ替ヘルニ「賣買契約ト同時ニ爲シタル買戻ノ特約ニ依リ」云々ト云フコトニシタラ何ウカト思ヒマス

井上正一君 既ニ買戻ト云フモノガ然ウ云フ性質ノモノテアラウト思ヒマス

長谷川喬君 唯タ「登記シタル」ヲ「爲シタル」ニシタラ何ウテゴザイマセウカ

磯部四郎君 私モ井上君ノ修正説ニ賛成テアリマスガ其賛成スル理由カ井上君トハ少シ違ヒマス井上君ノ言ハルルニ買戻ノ契約ハ無論賣買契約ト同時ニ成立タナケレハナラヌ夫レテアルカラ「賣買

契約ト同時ニ」ト云フコトハ要ラヌト云フコトテアリマスガ成程法律ノ理窟カラ言ヘハ然ウ云フコトニ爲ルテゴザイマセウ、ケレトモ私ハ却テ簡單ニ「買戻ノ特約ニ依リ」ト云フコトニ爲ツテ居ルト日本ノ習慣上皆此特約ヲ賣買契約ト同時ニアツタモノモ以後ニアツタモノモ恰度此支配ヲ受ケテ日本ノ慣習ニ適當シタルモノカ出來ヤウト思ヒマスカラ夫レテ此「賣買契約ト同時ニ登記シタル」ト云フ文字ヲ削除スルト云フ御説ニ賛成スルノテアリマス

土方 寧君 私ハ二項ヲ削ルト云フ長谷川君ノ御説ニ賛成テアリマスガ横田君モ賛成テハアルガ夫レナラハ一項ヲ書キ替ヘテ買ヒタイト云フコトテハアリマシタガ私ハ井上君ニ賛成スルノテハアリマセヌガ二項ヲ削ルニ付テハ一項ヲいぢりタイト云フ横田君ノ御説カアリマシタガスウシタラ何ウテゴザイマセウカ一項ノ中ノ「不動産」ヲ抜テ「賣主ハ賣買契約ト同時ニ爲シタル買戻ノ特約ニ

依リ」云云「但特別ノ契約ナキトキハ果實ト代金ノ利息トハ之ニ
相殺シタルモノト看做ス」ト云フコトニシテ然ウシテ五百八十三
條ニ持ツテ往ツテ意味ハ「買戻ハ不動産ニ對シテ登記スルニ非サ
レハ第三者ニ對シテ効力ヲ生セス」ト云フ風ニスレハ宜シイト思
ヒマス

梅澤次郎君 此動産云云ノコトハ既ニ説明ヲ致シテ置キマシタノテ
、モウ再ヒハ辨シマセヌガ唯タ一年先キニ申上ケナカツタ事ヲ申
上ケテ置キマス夫レハ既成法典杯デモ動産ニ付テノ買戻ノ約款カ
第三者ニ對シテ効力ヲ生シテハ濶ラナイト云フコトヲ覺ツテ動産
物ニ付テハ受戻ノ權能ハ善意ニテ其動産物上ニ物權ヲ取得シタル
第三者ニ對シテ之ヲ行フコトヲ得ス」杯ト云フ規定モアル位デア
リマス其點ハ餘程御考ヘテ願ヒタイ又期間モ一寸先刻横田君カ言
ハレタヤウニ若シ動産ノ買戻ヲ認ノルト云フコトデアレハ既成法

典ニハ二年ト爲ツテ居リマスガ何ニカ斯ウ云フ違ヒカナケレハナ
ラヌト思ヒマス此點モ御考ヘテ願ヒマス又井上君ノ御説ニ付テハ
格別反對スル私ノコトモアリマセヌガ併シ私共ノ考ヘタ所テハ今
井上君ノ御述ヘニ爲ツタ所テハ井上君ノ御考ヘトハ餘程違ツタ結
果ニ至ラウト思ヒマス第一ニ磯部君ノ言ハレタヤウニ然ウ審テ置
ケハ賣買契約後ニ爲シタ買戻ノ特約モ遺入ル井上君ハ然ウテナイ
ト言ハレル（此時井上君「私ハ特約ト申シタノデアリマス」ト呼
フ）然ウスルトモウ一ツノ點丈ケハ殘ルモウ一ツノ點ハ若シ然ウ
云フコトニ爲ルト云フト意味カ斯ウ爲リマス賣買契約ト同時ニ特
約ヲ爲シサヘスレハ登記チスルトキニハ唯タ普通ノ賣買登記丈ケ
シテ置テ買戻ノコトハ登記チシナイ後日ニナツテ登記チスル併シ
之ハ賣買ノ當時ニ矢張り結ンテ置イタ契約テアルカラト言ツテ證
書カ何ニカ見セテ然ウシテ夫レノ此處ニ言フ所ノ買戻ト云フコト

ニスル斯ウ云フコトニ爲ル恐レカアリハ致シマスマイカ夫レテアリマスカラ私ノ考ヘテハ之レハ何ウモ今ノヤウニ爲ツテハ往ケナイ井上君ノ御考ヘト雖モ夫レテ宜シイト云フ御考ヘテモアルマイト思ヒマスガ去レハト言ツテ之ヲ登記法ニ讓ルト云フコトテアツテモ今ノヤウナ事ハ或ハ民法ニ規定シテ價イタ方カ宜クハナイカト思ヒマス夫レテ唯タ文章上ノコトテアリマスガ五百八十三條ノ方チ「賣買契約ト同時ニ登記シタル買戻ノ特約ハ第三者ニ對シテモ其効力ヲ生ス」斯ウ云フコトニデモシタナラハ少シ賣買ハ違ヒマスケレトモ夫レナラハ格別弊ハナイカモ知レヌガ今ノ御案ノヤウテアルト即チ契約ハ一緒ニシタケレトモ何ニカ都合ニ依テ買戻ノ約束ヲスルヤウナコトヲ登記スルノカ都合カ悪ルイト云フ所カラ登記チシナイテ價テ後日登記チシテモ宜シイト云フヤウナ然ウ云フコトハ被多ニハアリマスマイガ若シアツタナラハ夫レテモ宜

シイト云フヤウナコトニ爲リハシマセヌカ夫レテアリマスカラ文章丈ケ今ノヤウニシテ先刻井上君ノ御述ヘニ爲ツタ當事者間ニハ登記ハ必要テナイト云フ丈ケノコトテアレハ今ノヤウニ爲ツテハ何ウテアリマス

井上正一君 私ノ最モ此處テ感服シナイト云フノハ當事者間ニ必要ナル効力ト云フコトテアリマス夫レサヘナケレハ然ウナツテモ私丈ケハ強ヒテ異議ハアリマセヌ

磯部四郎君 一寸質問致シマス先程一寸御尋ネ致シマシタガ此法案デ往キマスルト「登記シタル買戻ノ特約ニ依リ」ト云フコトハ登記シタル時カラ其効力ヲ生スルノテスカ賣買契約ノ時ニ遡ルノテアリマスカ

梅謙次郎君 當事者間ニ於テハ契約ノ當時ニ遡リ第三者ニ對シテハ登記ノ時カラテナケレハ効力ハアリマセヌ

磯部四郎君 先程私カニ御尋ネシマシタガ「買賣契約ト同時ニ登記シタル」ト云フコトハ登記ハ同時ニナツテモ買戻ノ特約ト賣買ノ契約ト間カ離レテ居ツタナラハ何ウテゴザイマセウカ

梅藤次郎君 夫レハ差支ヘナイ積リテアリマス何セナラハ此場合ニ先キニ申上ケタヤウニ賣買契約ノ跡ニ然ウ云フ契約チスルト云フコトハ丸テ禁シテナイ制限シテナイ此案テハ夫レハ構ヒマセヌ唯

タ登記チ一緒ニシサヘスレハ宜シイ唯タ然ウ云フコトハ實際稀レテアラウト云フ丈ケノ考ヘテアリマス併シ今改メタ案テアルト變リマス

磯部四郎君 然ウスルト買戻ノ契約ハあなたノ御説ニシテモ登記チシタ以後テナケレハ効力カ生シナイト云フ御考ヘテスナ
梅藤次郎君 然ウテス

議長（西園寺侯） 然ウスルト今迄成立ツテ居ル説ハ詰リ長谷川さ

んノ御説丈ケテアリマスガ井上さんハ長谷川さんニ御同意テハナイノテスカ

井上正一君 同意致シマス

議長（西園寺侯） 長谷川さんニ今一通

長谷川喬君 井上さんニ何ウカ御願ヒシマス

井上正一君 「買賣契約ト同時ニ爲シタル買戻ノ特約ニ依リ」トシマス夫レカラ先キノ五百八十三條ノ方ハ又其處ニ往ツテカラニシマス

梅藤次郎君 一寸先キノ方ニ入レヤウト云フノハ斯ウ云フノテス私ノハ「第五百八十三條賣買契約ト同時ニ登記シタル買戻契約ハ第三者ニ對シテモ其効力チ生ス」ト云フノテアリマス

横田國臣君 私ハ土方君ニ賛成シマス先キノ所ハ先キテ夫レニ依テズツ直ホシテ往クト云フコトニシテ此處ノ所テハ「不動産ノ」

ト云フコトヲ削ツテ二項モ削ル

土方 寧君 一寸案ヲ申シマス 詰リ長谷川君ニ本体ハ同意テ二項ヲ削ツテ其代ハリ一項ノ中ノ「不動産ノ」ト云フコトト「登記」ト云フコトヲ抜テ夫レカラ先キノ五百八十三條ニ持ツテ往ツテ不動産ニ付テハ登記ヲシナケレハ第三者ニ對シテ效力ナイト云フコトニシタイ

議長（西園寺侯） 只今ノ土方君ノ御説ニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少数

議長（西園寺侯） 少数次ハ井上君ノハ今一通御讀ミテ願ヒマス

井上正一君 「第五百八十一條不動産ノ賣主ハ賣買契約ト同時ニ爲シタル買戻ノ特約ニ依リ」ト致シマス

梅澤次郎君 先キノ方カ條件ニ爲ツテ居リマスカ

井上正一君 夫レナラハ其意味ヲ五百八十三條ニ入レタイガマダ問題ニハ爲リマセヌガ宜シウゴザイマスカ

議長（西園寺侯） 夫レテハ其條件ノ付イタノニ御賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多数

議長（西園寺侯） 多数

長谷川喬君 第二項削除説カアリマス

議長（西園寺侯） 夫レテハ第一項ハ修正通りニシテ第二項丈ケ削除ニ賛成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多数

議長（西園寺侯） 多数夫レテハ今晚ハ是テ散會シマス

干時午後九時散會

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

昭和十年七月二十四日寫了司法省法律調査會證書

日本學術振興會

司
法
省



